

環境の保全（生物多様性保全含む）に関する
中高生・市民・事業者アンケート

報告書

目次

I. 調査概要	1
1. 調査目的	1
2. 調査対象	1
3. 調査方法	1
4. 調査期間	1
5. 回収結果	1
6. 分析・表示について	2
7. 回答種別	2
II. 調査結果	3
1. 中高生アンケート（配布数：592；回答者数：524）	3
2. 市民アンケート（配布数：1,500；回答者数：419）	16
3. 事業者アンケート（配布数：300；回答事業者数：141）	40
III. 同一設問による比較	85

I. 調査概要

1. 調査目的

本調査は、「第3次岡山市環境基本計画（仮称）」及び「生物多様性おかやまプラン（仮称）」の策定にあたり、市民や事業者の皆様のご意見やご要望をできるだけ計画に反映させる目的で実施したものである。

2. 調査対象

調査の種類	対象	
中高生アンケート	中学生	高松中学校 : 149名 建部中学校 : 26名 瀬戸中学校 : 121名 光南台中学校 : 39名 灘崎中学校 : 127名 (計 462名)
	高校生	岡山城東高校 : 114名 高松農業高校 : 16名 (計 130名)
市民アンケート	市内在住者	20代以上の 1,500名
事業者アンケート	市内事業者	市のグリーンカンパニー登録事業者の 300社
計 2,392名・社		

3. 調査方法

調査の種類	調査方法
中高生アンケート	Google フォームを用いたオンラインによる周知・回答
市民アンケート	郵送による配付・回収
事業者アンケート	

4. 調査期間

調査の種類	対象	調査期間
中高生アンケート	中学生	令和6年6月27日～7月19日
	高校生	令和6年7月6日～7月19日
市民アンケート	市内在住者	令和6年7月2日（発送日）～8月26日（到着分）
事業者アンケート	市内事業者	

5. 回収結果

調査の種類	対象	有効回収数（件）		有効回収率（%）	
中高生アンケート	中学生	429	524	92.9	88.5
	高校生	95		73.1	
市民アンケート	市内在住者	419		27.9	
事業者アンケート	市内事業者	141		47.0	

6. 分析・表示について

アンケート調査結果の分析・表示に係る留意点を、以下に示す。

- ・ 比率は性別、年齢、地域など種別毎にみた場合の内訳であり、すべて百分率（％）で表示している。また、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、比率の合計は 100 とならない場合がある。比率が 0.05％未満の場合は 0.0％と表示してある。
- ・ 複数回答を許している設問（以下「回答種別」参照）があり、その場合回答の合計数が回答者数を超えることがある。また、回答者数を基数として比率を算出しているため、合計が 100％を超えることがある。
- ・ 自由記述については、代表的な意見を抽出しています。

7. 回答種別

SA（Single Answer：単回答）

- ・ 複数の選択肢から、1 つだけ選んで回答する形式。

LA（Limited Answer：複数回答＜制限あり＞）

- ・ 複数の選択肢から、制限された数以内で 1 つ以上を選んで回答する形式。例えば 2LA であれば、選択肢の中から 2 つ以内で回答します。

MA（Multiple Answer：複数回答＜制限なし＞）

- ・ 複数の選択肢から、あてはまるもの全てを選んで回答する形式。

FA（Free Answer：自由回答）

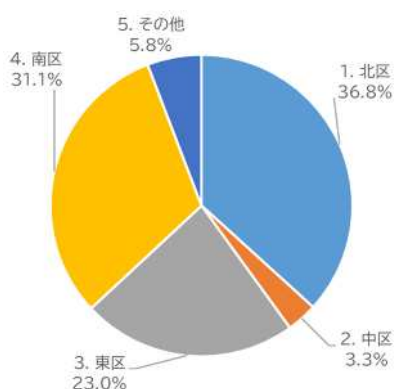
- ・ 選択肢を設けず、自由に回答する形式。

II. 調査結果

1. 中高生アンケート（配布数：592；回答者数：524）

問1. あなたが住んでいる地区を教えてください。（中高生共通）（n=517） SA

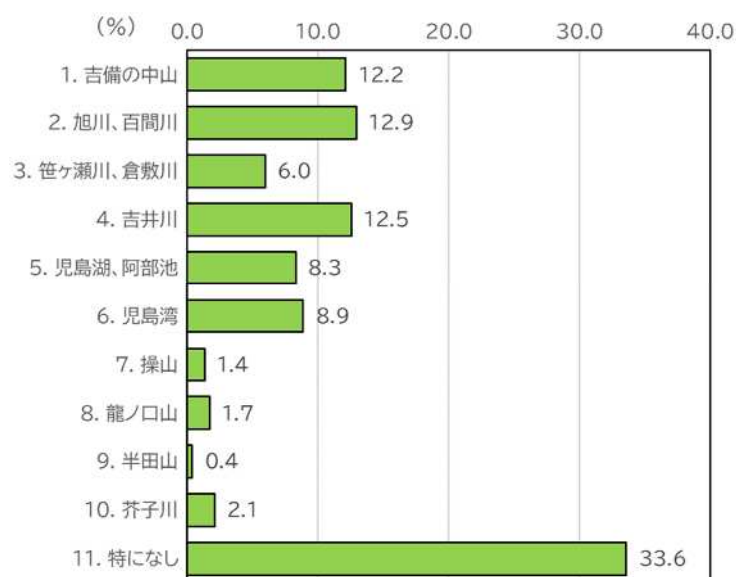
1.	北区		190件	(36.8%)
2.	中区		17件	(3.3%)
3.	東区		119件	(23.0%)
4.	南区		161件	(31.1%)
5.	その他		30件	(5.8%)
		総数	517件	



問2. あなたにとって一番身近に感じる自然はどこですか？（中高生共通）（n=518） SA

- 身近に感じる自然が「特になし」という回答が最も多かった。
- 場所の回答があった中では「吉備の中山」や「吉井川」、「旭川、百間川」を回答した生徒が多かった。

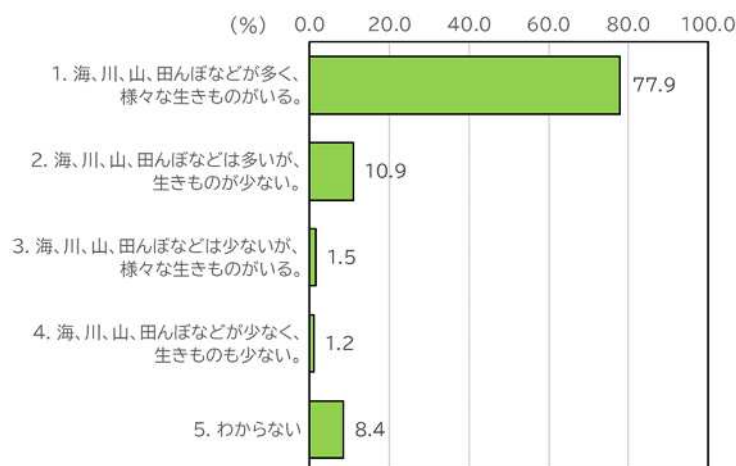
1.	吉備の中山		63件	(12.2%)
2.	旭川、百間川		67件	(12.9%)
3.	笹ヶ瀬川、倉敷川		31件	(6.0%)
4.	吉井川		65件	(12.5%)
5.	児島湖、阿部池		43件	(8.3%)
6.	児島湾		46件	(8.9%)
7.	操山		7件	(1.4%)
8.	龍ノ口山		9件	(1.7%)
9.	半田山		2件	(0.4%)
10.	芥子川		11件	(2.1%)
11.	特になし		174件	(33.6%)
		総数	518件	



問3. 岡山市の自然についてどう思いますか？（中高生共通）（n=521） SA

- 「海、川、山、田んぼなどが多く、様々な生きものがある」という回答が 77.9% を占め、岡山市には自然が残っているという認識の生徒が多いことが示唆された。

1.	海、川、山、田んぼなどが多く、様々な生きものがある。	406件	(77.9%)
2.	海、川、山、田んぼなどは多いが、生きものが少ない。	57件	(10.9%)
3.	海、川、山、田んぼなどは少ないが、様々な生きものがある。	8件	(1.5%)
4.	海、川、山、田んぼなどが少なく、生きものも少ない。	6件	(1.2%)
5.	わからない	44件	(8.4%)
		総数	521件



問4. あなたは日ごろ、どのような環境保全または環境によい行動をしていますか？（複数回答可）（中高生共通）（n=522） MA

- 「ごみのポイ捨てをしない」が最も多く、次に「買い物ではレジ袋をできるだけ断る」が多かった。

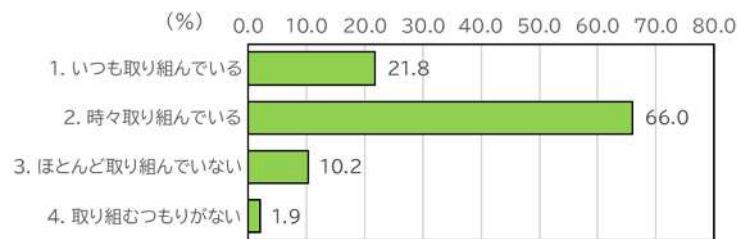
1.	買い物ではレジ袋をできるだけ断る	379件	(72.6%)
2.	フリーマーケットやリサイクルショップを利用する	90件	(17.2%)
3.	ごみのポイ捨てをしない	467件	(89.5%)
4.	近所の迷惑にならないよう、テレビやステレオの音量を調整したり、楽器を演奏する時間に配慮する	282件	(54.0%)
5.	歯磨きや洗面の時はこまめに水を止める	314件	(60.2%)
6.	スマホの充電器などを使わないときはコンセントから電源プラグを抜く	146件	(28.0%)
7.	環境に関するイベント（施設見学、自然観察会等）に参加する	54件	(10.3%)
8.	清掃活動などの美化活動へ参加する	102件	(19.5%)
9.	あてはまるものはない	15件	(2.9%)
	総数	522件	



問5. あなたやあなたの家では、環境保全または環境によい行動に、どの程度取り組んでいますか？（中高生共通）（n=518） SA

- 「時々取り組んでいる」が最も多かった。

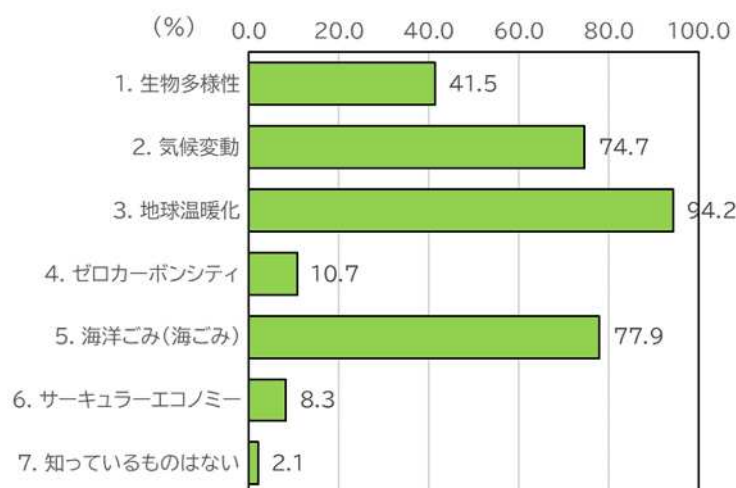
1.	いつも取り組んでいる		113件 (21.8%)
2.	時々取り組んでいる		342件 (66.0%)
3.	ほとんど取り組んでいない		53件 (10.2%)
4.	取り組むつもりがない		10件 (1.9%)
		総数	518件



問6. 環境に関わる下の言葉の中で、意味も含めて知っているものすべてにチェックをいれてください。（複数回答可）（中高生共通）（n=521） MA

- 「地球温暖化」が最も多く、「海洋ゴミ（海ごみ）」、「気候変動」が次いで多かった。
- 「生物多様性」は41.5%と「地球温暖化」や「気候変動」、「海洋ゴミ（海ごみ）」に比べ認知度が低い結果となった。

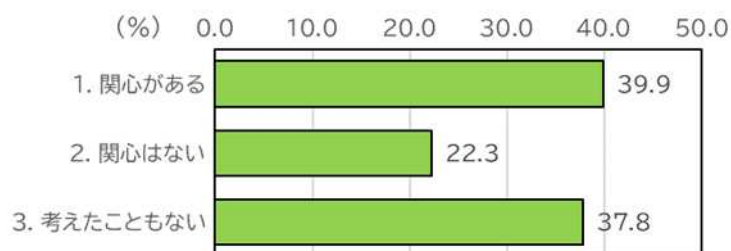
1.	生物多様性		216件 (41.5%)
2.	気候変動		389件 (74.7%)
3.	地球温暖化		491件 (94.2%)
4.	ゼロカーボンシティ		56件 (10.7%)
5.	海洋ごみ（海ごみ）		406件 (77.9%)
6.	サーキュラーエコノミー		43件 (8.3%)
7.	知っているものはない		11件 (2.1%)
		総数	521件



問7. あなたは、「生物多様性」に関心がありますか？（中高生共通）（n=521） SA

- 「関心がある」と答えた生徒が 39.9%、「考えたこともない」と答えた生徒も 37.8%で、同程度であった。

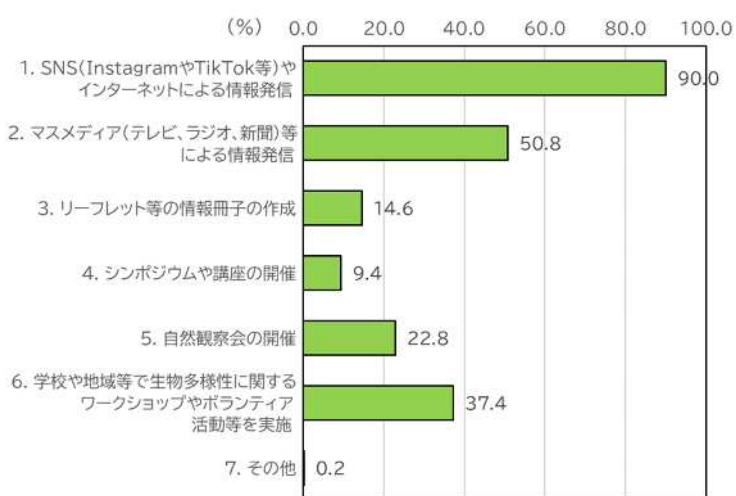
1.	関心がある		208件	(39.9%)
2.	関心はない		116件	(22.3%)
3.	考えたこともない		197件	(37.8%)
		総数	521件	



問8. あなたは、どのような方法を使えば、多くの人が「生物多様性」を知ることができると思いますか？（複数回答可）（中高生共通）（n=522） MA

- 「SNS (Instagram や TikTok 等) やインターネットによる情報発信」が 90.0%で、他と比較し突出して多かった。

1.	SNS (InstagramやTikTok等) やインターネットによる情報発信	470件	(90.0%)
2.	マスメディア (テレビ、ラジオ、新聞) 等による情報発信	265件	(50.8%)
3.	リーフレット等の情報冊子の作成	76件	(14.6%)
4.	シンポジウムや講座の開催	49件	(9.4%)
5.	自然観察会の開催	119件	(22.8%)
6.	学校や地域等で生物多様性に関するワークショップやボランティア活動等を実施	195件	(37.4%)
7.	その他	1件	(0.2%)
	総数	522件	



問9. あなたは、生物多様性の取組やイベントがあれば参加してみたいと思いますか？（中学生共通）(n=522) SA

➤ 「興味はあるが参加しないと思う」が最も多く、「参加したい」が最も少なかった。

1.	参加したい	92件	(17.6%)
2.	興味はあるが、参加しないと思う	284件	(54.4%)
3.	参加しない	146件	(28.0%)
	総数	522件	

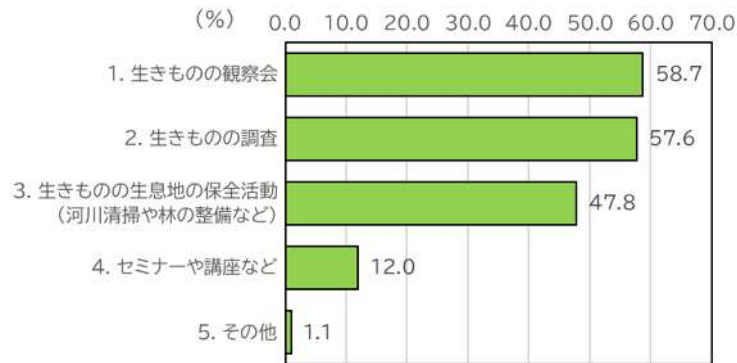


問10. 1 (問9. で1と回答された方)

どのような取組やイベントに参加してみたいですか？(複数回答可)(中高生共通)(n=91) MA

- 「生きものの観察会」や「生きものの調査」を回答した生徒が58.7%及び57.6%で最も多く、次いで「生きものの生息地の保全活動(河川清掃や林の整備など)」が47.8%であった。

1.	生きものの観察会		54件	(58.7%)
2.	生きものの調査		53件	(57.6%)
3.	生きものの生息地の保全活動 (河川清掃や林の整備など)		44件	(47.8%)
4.	セミナーや講座など		11件	(12.0%)
5.	その他		1件	(1.1%)
		総数	91件	



◇ その他回答は次の通り

- ・ クイズなど

問10. 2 (問9. で2、3と回答された方)

「参加しない」理由として最も近いものを1つ選んでください。(中高生共通)(n=408) SA

- 「その他」を除き、「忙しくて時間がない」が最も多く、「生物多様性に関する取組に興味がない」が最も少なかった。

1.	忙しくて時間がない		155件	(38.0%)
2.	興味はあるが、 様々な人と関わることに抵抗感がある		77件	(18.9%)
3.	生物多様性に関する取組に興味がない		69件	(16.9%)
4.	面倒くさい		100件	(24.5%)
5.	その他		7件	(1.7%)
		総数	408件	



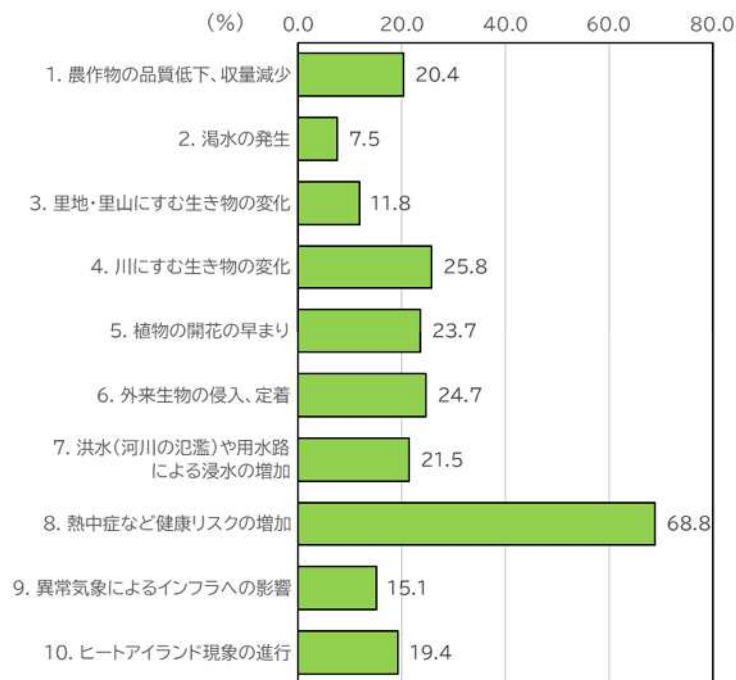
◇ その他回答は次の通り

- ・ あまり生物多様性について知識がなく、わからない話の内容が多いと思うから。
- ・ 気にはなるが、行かないといけないのが大変。
- ・ 学校での取り組みだったらやってみたい。
- ・ 興味ないから。
- ・ 虫や動物が苦手だから。

問11. 気候変動（地球温暖化等）の影響についてお聞きします。「岡山市で気候変動の影響を受けていると感じるもの」について、以下の選択肢からあてはまるものを3つまで選んでください。（高校生のみ）（n=93）3LA

- 他と比較し、「熱中症など健康リスクの増加」が突出して多かった。

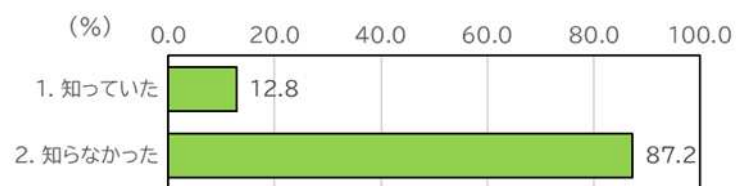
1.	農作物の品質低下、収量減少	19件	(20.4%)
2.	渇水の発生	7件	(7.5%)
3.	里地・里山にすむ生き物の変化	11件	(11.8%)
4.	川にすむ生き物の変化	24件	(25.8%)
5.	植物の開花の早まり	22件	(23.7%)
6.	外来生物の侵入、定着	23件	(24.7%)
7.	洪水（河川の氾濫）や用水路による浸水の増加	20件	(21.5%)
8.	熱中症など健康リスクの増加	64件	(68.8%)
9.	異常気象によるインフラへの影響	14件	(15.1%)
10.	ヒートアイランド現象の進行	18件	(19.4%)
	総数	93件	



問12. 岡山市では、2050 年までに地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排出を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」を目指しています。あなたはこのことを知っていましたか？（高校生のみ）(n=94) SA

➤ 87.2%が「知らなかった」と回答した。

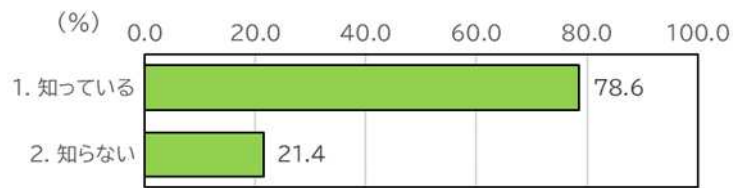
1.	知っていた	12件	(12.8%)
2.	知らなかった	82件	(87.2%)
	総数	94件	



問13. 「地球温暖化」を止めるための取組（地球温暖化対策）を知っていますか？（中学生のみ）(n=425) SA

➤ 78.6%が「知っている」と回答した。

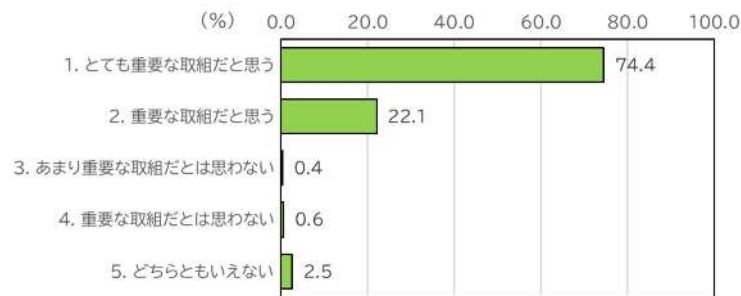
1.	知っている	334件	(78.6%)
2.	知らない	91件	(21.4%)
	総数	425件	



問14. 「地球温暖化対策」についてどう思いますか？（中高生共通）（n=516） SA

➤ 「とても重要な取組だと思う」、「重要な取組だと思う」の合計が96.5%であった。

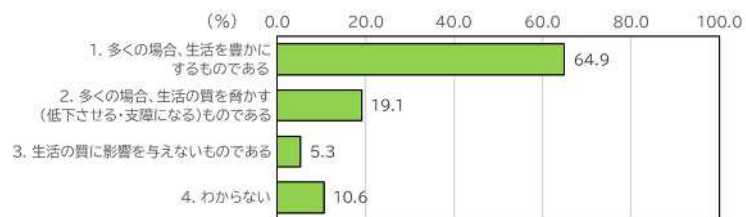
1.	とても重要な取組だと思う	384件	(74.4%)
2.	重要な取組だと思う	114件	(22.1%)
3.	あまり重要な取組だとは思わない	2件	(0.4%)
4.	重要な取組だとは思わない	3件	(0.6%)
5.	どちらともいえない	13件	(2.5%)
	総数	516件	



問15. あなたにとって、「地球温暖化対策」とはどのようなものだと感じますか？（高校生のみ）（n=94） SA

➤ 「多くの場合、生活を豊かにするものである」が64.9%で、比較的多くの生徒が地球温暖化対策を正しく捉えていることが示唆された。

1.	多くの場合、生活を豊かにするものである	61件	(64.9%)
2.	多くの場合、生活の質を脅かす（低下させる・支障になる）ものである	18件	(19.1%)
3.	生活の質に影響を与えないものである	5件	(5.3%)
4.	わからない	10件	(10.6%)
	総数	94件	



問16. 地球温暖化にどのような対策が有効か、具体的なイメージを持っていますか？（高校生のみ）（n=93） SA

➤ 「持っている」、「何となく持っている」の合計が 92.4%であった。

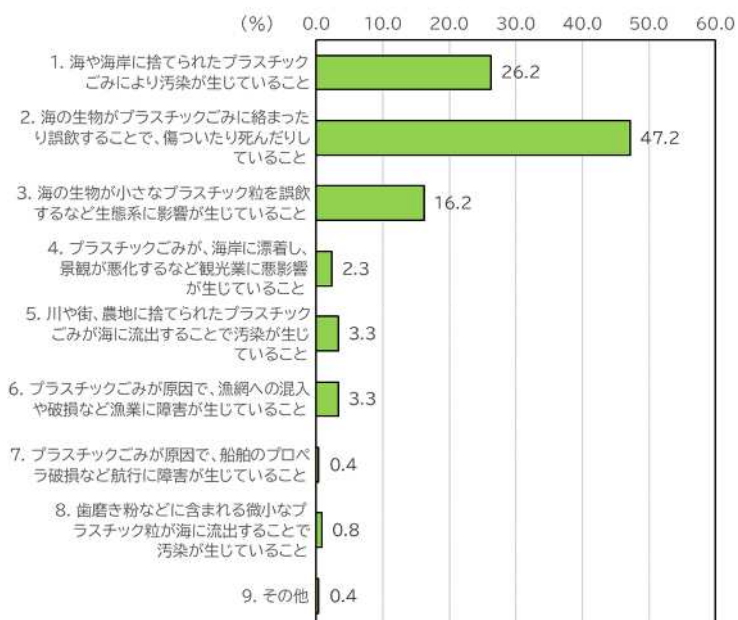
1.	持っている	27件	(29.0%)
2.	何となく持っている	59件	(63.4%)
3.	持っていない	7件	(7.5%)
		総数	93件



問17. 「プラスチックごみ」による海の汚染について、最も問題だと思うものを1つ選んでください。（中高生共通）（n=519） SA

➤ 「海の生物がプラスチックごみに絡まったり誤飲することで、傷ついたり死んだりしていること」が 47.2%で最も高く、その他にも「海の生物が小さなプラスチック粒を誤飲するなど生態系に影響が生じていること」を 16.2%が選択するなど、海洋プラスチックごみによる生物への影響を問題視する回答が多かった。

1.	海や海岸に捨てられたプラスチックごみにより汚染が生じていること	136件	(26.2%)
2.	海の生物がプラスチックごみに絡まったり誤飲することで、傷ついたり死んだりしていること	245件	(47.2%)
3.	海の生物が小さなプラスチック粒を誤飲するなど生態系に影響が生じていること	84件	(16.2%)
4.	プラスチックごみが、海岸に漂着し、景観が悪化するなど観光業に悪影響が生じていること	12件	(2.3%)
5.	川や街、農地に捨てられたプラスチックごみが海に流出することで汚染が生じていること	17件	(3.3%)
6.	プラスチックごみが原因で、漁網への混入や破損など漁業に障害が生じていること	17件	(3.3%)
7.	プラスチックごみが原因で、船舶のプロペラ破損など航行に障害が生じていること	2件	(0.4%)
8.	歯磨き粉などに含まれる微小なプラスチック粒が海に流出することで汚染が生じていること	4件	(0.8%)
9.	その他	2件	(0.4%)
	総数	519件	



◇ その他回答は次の通り

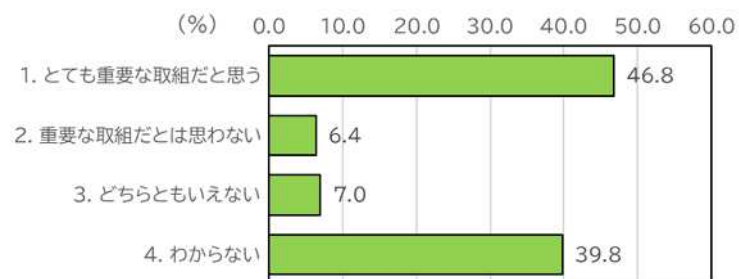
- ・ 人間がプラスチックを生み出していること。

問18. あなたは「サーキュラーエコノミー」の取組についてどう思いますか？（中高生共通）

(n=515) SA

- 「とても重要な取組だと思う」が46.8%と最も多かった。一方で、「わからない」も39.8%と多く、中高生においてはサーキュラーエコノミーに関する十分な理解が得られていない現状が示唆された。

1.	とても重要な取組だと思う		241件	(46.8%)
2.	重要な取組だとは思わない		33件	(6.4%)
3.	どちらともいえない		36件	(7.0%)
4.	わからない		205件	(39.8%)
		総数	515件	

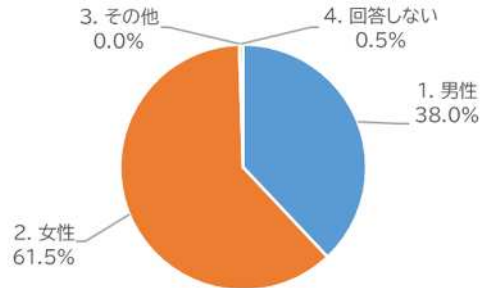


2. 市民アンケート（配布数：1,500；回答者数：419）

問1. 各項目について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

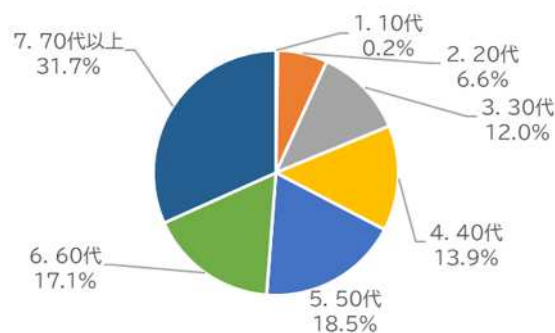
(1) 性別（n=408）SA

1.	男性		155件	(38.0%)
2.	女性		251件	(61.5%)
3.	その他		0件	(0.0%)
4.	回答しない		2件	(0.5%)
			総数	408件



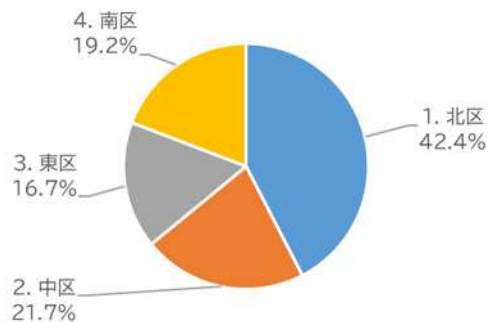
(2) 年代（n=410）SA

1.	10代		1件	(0.2%)
2.	20代		27件	(6.6%)
3.	30代		49件	(12.0%)
4.	40代		57件	(13.9%)
5.	50代		76件	(18.5%)
6.	60代		70件	(17.1%)
7.	70代以上		130件	(31.7%)
			総数	410件



(3) 居住区（n=401）SA

1.	北区		170件	(42.4%)
2.	中区		87件	(21.7%)
3.	東区		67件	(16.7%)
4.	南区		77件	(19.2%)
			総数	401件



問2. あなたは、「生物多様性」の言葉の意味を知っていますか？ (n=415) SA

- 「知っている」が26.3%であるのに対し、「聞いたことがある」が45.5%と最も多く、生物多様性についての理解や認識は、未だ市民の間に充分浸透していない現状が示唆された。

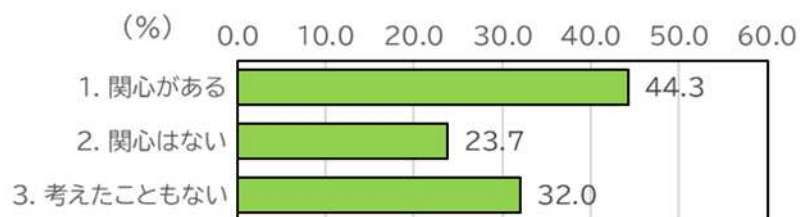
1.	知っている		109件	(26.3%)
2.	聞いたことがある		189件	(45.5%)
3.	全く知らない		117件	(28.2%)
		総数	415件	



問3. 1 あなたは、生物多様性に興味がありますか？ (n=409) SA

- 「関心はない」及び「考えたこともない」の合計が55.7%で、「関心がある」の44.3%を上回っており。市民に向けた生物多様性に関する普及啓発や、興味・関心を醸成する取組の必要性が示唆された。

1.	関心がある		181件	(44.3%)
2.	関心はない		97件	(23.7%)
3.	考えたこともない		131件	(32.0%)
		総数	409件	



<問3. 1で関心があると回答された方>

問3. 2 あなたは、生物多様性の保全のために行っていることがありますか？ (複数回答可) (n=159) MA

- 「地産地消 (地元農産物の優先購入)」が83.0%で突出して多かった。

1.	自然観察会などへの参加	10件	(6.3%)
2.	講演会やシンポジウムへの参加	8件	(5.0%)
3.	外来生物の駆除	22件	(13.8%)
4.	植樹活動	6件	(3.8%)
5.	地産地消(地元農産物の優先購入)	132件	(83.0%)
6.	その他	21件	(13.2%)
	総数	159件	



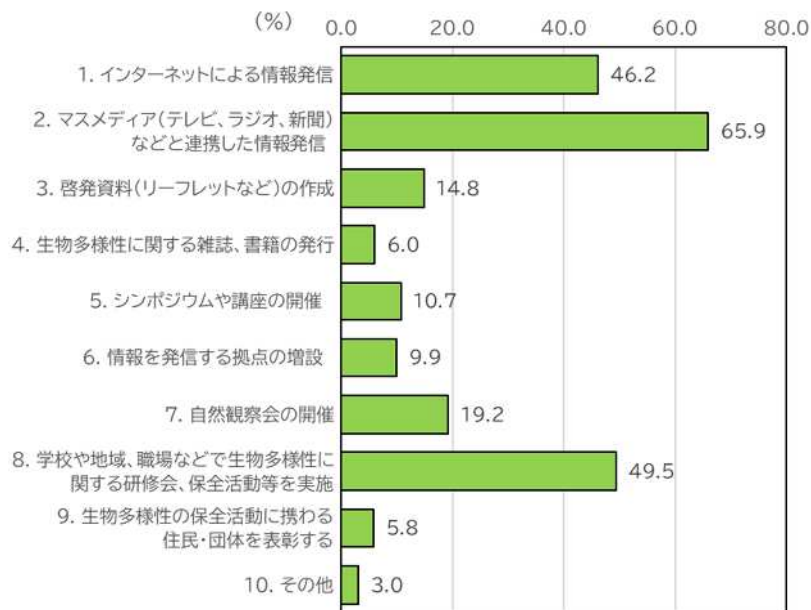
◇ その他回答は次の通り

- ・ 家の近くの生物の観察。
- ・ 自然破壊につながる製品を避けている。
- ・ 関心があるがあまり積極的に活動していない。
- ・ 道路・用水路のゴミ拾い。
- ・ 展示を見たことがある。
- ・ 寄付。
- ・ 自然を大切にすること。
- ・ ヒアリとか、ニュースで、外来の黄色い花とか、気になります。
- ・ 魚釣りでのキャッチアンドリリース。
- ・ 家庭菜園で農薬を使用しない。虫の食べる草木植物を育てる。
- ・ 高齢なので、あまり出かけられない。
- ・ 身の周りの野草も大切にすること。

問 3. 3 あなたは、市民の多くの方々に「生物多様性」を周知するために、どのような方法が有効であると思われますか？（複数回答可）(n=364) MA

- 「マスメディア（テレビ、ラジオ、新聞）などと連携した情報発信」が 65.9%で最も多く、次いで「学校や地域、職場などで生物多様性に関する研修会、保全活動等を実施」及び「インターネットによる情報発信」が多かった。

1.	インターネットによる情報発信	168件	(46.2%)
2.	マスメディア（テレビ、ラジオ、新聞） などと連携した情報発信	240件	(65.9%)
3.	啓発資料（リーフレットなど）の作成	54件	(14.8%)
4.	生物多様性に関する雑誌、書籍の発行	22件	(6.0%)
5.	シンポジウムや講座の開催	39件	(10.7%)
6.	情報を発信する拠点の増設	36件	(9.9%)
7.	自然観察会の開催	70件	(19.2%)
8.	学校や地域、職場などで生物多様性に 関する研修会、保全活動等を実施	180件	(49.5%)
9.	生物多様性の保全活動に携わる 住民・団体を表彰する	21件	(5.8%)
10.	その他	11件	(3.0%)
	総数	364件	



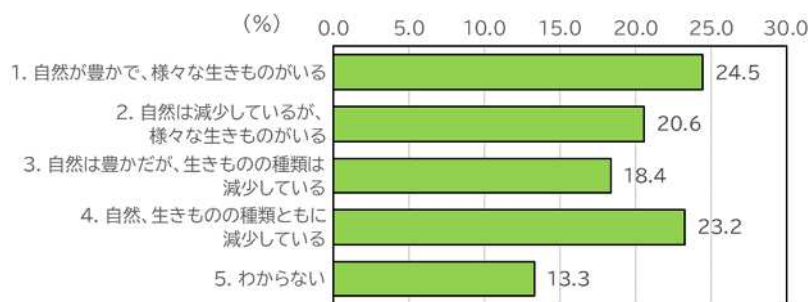
◇ その他回答は次の通り

- ・ 観光と結びつけて市外に PR すると、市内にも認知が広まる。
- ・ まちづくりの見直し、景観、ランドスケープデザイン。
- ・ 広報紙に掲載。
- ・ 公共施設や大型商業施設などにビオトープを作り、肌で感じる機会をつくる
- ・ マンガやポケモン等人気キャラクターとのコラボ。
- ・ 授業・授業参観で親子で考える機会を設ける。

問4. 岡山市の自然についてどう思いますか？ (n=413) SA

- 「わからない」以外の4つの選択肢の割合が18.4%~24.5%で顕著な差がなく、自然の豊かさや生きものの種類数の変化に対する市民意識について、顕著な傾向がみられない。

1.	自然が豊かで、 様々な生きものがいる	101件	(24.5%)
2.	自然は減少しているが、 様々な生きものがいる	85件	(20.6%)
3.	自然は豊かだが、 生きものの種類は減少している	76件	(18.4%)
4.	自然、生きものの種類ともに 減少している	96件	(23.2%)
5.	わからない	55件	(13.3%)
	総数	413件	



問5. 1 あなたにとって岡山市の身近な自然はどこですか？ (n=362) SA

- 「旭川、百間川」と答えた人が36.2%と最も多く、次いで「笹ヶ瀬川、倉敷川」が13.0%であった。

1.	吉備の中山	34件	(9.4%)
2.	旭川、百間川	131件	(36.2%)
3.	笹ヶ瀬川、倉敷川	47件	(13.0%)
4.	吉井川	21件	(5.8%)
5.	児島湖・阿部池	18件	(5.0%)
6.	児島湾	5件	(1.4%)
7.	操山	18件	(5.0%)
8.	龍ノ口山	10件	(2.8%)
9.	半田山	19件	(5.2%)
10.	芥子山	5件	(1.4%)
11.	その他の場所	24件	(6.6%)
12.	特になし	30件	(8.3%)
	総数	362件	



◇ その他回答は次の通り

- ・ 瀬戸町、吉井川。
- ・ 三徳園。
- ・ 地ぞう川
- ・ 田んぼや用水路。
- ・ 最上稲荷周辺。
- ・ コンパクトシティ化を目指している以外の場所。
- ・ 日応寺。
- ・ 岡山市立山南学園の所管地域。
- ・ 建部、足守。
- ・ 近くの山や川、田、畑 etc。
- ・ 落合。
- ・ 県総合グラウンド。
- ・ 御津。

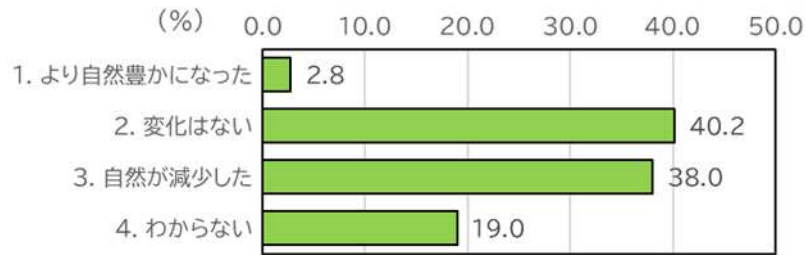
<問 5. 1 で 1. ~11. と回答された方>

問 5. 2 あなたはその場所が、以前と比べてどのような変化があったと感じますか？ (n=326)

SA

- 「変化はない」(40.2%) あるいは「自然が減少した」(38.0%) が多く、反対に「より自然豊かになった」は 2.8% で極めて少なかった。

1.	より自然豊かになった	9件	(2.8%)
2.	変化はない	131件	(40.2%)
3.	自然が減少した	124件	(38.0%)
4.	わからない	62件	(19.0%)
	総数	326件	



<問 5. 2 で 1. と回答された方>

問 5. 3 あなたがそのように感じた理由を記入してください。(n=9) FA

- ・ 50～60 年前より西川の水がきれい。昔はゴミを流す人がいた。西川沿い緑道公園がきれい。
- ・ ”自然”をどう受け取るか。草木が増えても整備されないことには、単に放棄地で外来種や害獣増加を助長させている。人間から見ればマイナスエリアかもしれないが動植物の活動範囲という点から見れば”自然”が”増えている”と思うから。
- ・ いろいろ整備されているのではないかと思います。
- ・ 木が生い茂り、人がいない。
- ・ きれいになった。
- ・ 半田山の植物園が好きです。
- ・ きれいに整備されていてランニング、ウォーキングするのに最適だと思います。

<問 5. 2 で 3. と回答された方>

問 5. 4 あなたがそのように感じた理由を記入してください。(n=113) FA

- ・ 季節ごとに鳴く鳥の数が少なくなった。少しずつ風の温度が高くなってきた。
- ・ 樹木が変わってきた。
- ・ 田んぼがどんどん宅地化してしまっているので、田植えの季節なのにカエルの声が聞こえなくなりました。
- ・ うめたてなど周辺環境が大きく変わった。
- ・ 最初に汚染の拡大している様に思うのと阿部池の太陽光発電による自然の破壊、動植物に与える影響の拡大、特に渡り鳥の減少が非常に大きな問題と感じる。
- ・ 住宅が増えたから。
- ・ グランド等が整備された。
- ・ 川魚等々が獲れなくなった。
- ・ 緑化がへった（木や花）。河・川・用水の水がとにかく汚い。道路は草ばかり。
- ・ コンクリートが増えた。
- ・ 護岸工事が進み生物が少なくなった。
- ・ 川遊びができなくなった。
- ・ 干潟がへった。

- ・ 川底が浅くなった、すぐ増水する。
- ・ 異常気象等の影響が少なからずあると思うから。
- ・ 暮らしやすさ優先で、自然や景観を損なってきている。また逆に、ある程度手をかけて森や水辺を整えるべきところを放置しているようなところがある。
- ・ 河川敷が子供達の遊び場や運動広場となりとても良い。
- ・ 以前は当り前に見られた植物が見当たらない。
- ・ 川の水が汚れている ペットボトルやゴミが多くなった。
- ・ 昆虫など生き物が見られる種類が少なくなったと感じる。
- ・ 川岸の桜並木がなくなり、コンクリートになった。

問6. 1 あなたは、市民・企業・学校等と連携した生物多様性の取組やイベントがあれば参加してみたいと思いますか？ (n=411) SA

- 「興味はあるが、参加しないと思う」が56.9%で最も多く、「参加したい」は17.3%で最も少なかった。

1.	参加したい		71件	(17.3%)
2.	興味はあるが、参加しないと思う		234件	(56.9%)
3.	参加しない		106件	(25.8%)
		総数	411件	

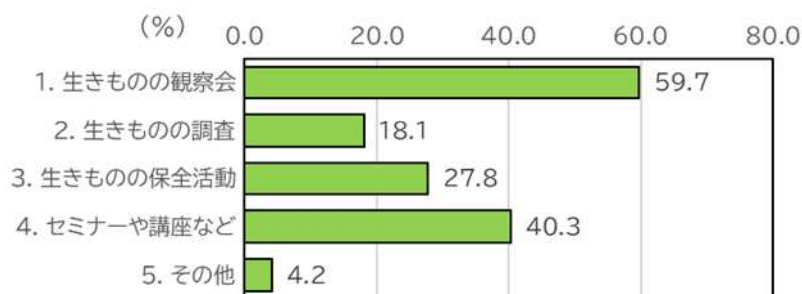


<問6. 1で1.と回答された方>

問6. 2 どのような取組やイベントに参加してみたいですか？ (複数回答可) (n=72) MA

- 「生きものの観察会」が最も多く、次いで「セミナーや講座」と回答した人が多かった。

1.	生きものの観察会		43件	(59.7%)
2.	生きものの調査		13件	(18.1%)
3.	生きものの保全活動		20件	(27.8%)
4.	セミナーや講座など		29件	(40.3%)
5.	その他		3件	(4.2%)
		総数	72件	



◇ その他回答は次の通り

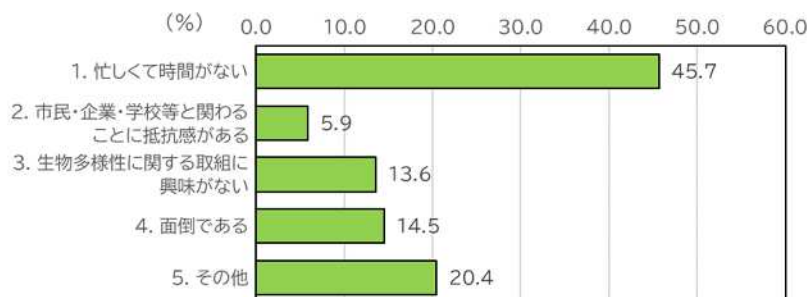
- ・ 何かのイベントでパネル展をしていたら見る。
- ・ 見てさわって、ゲーム感覚で体験。

<問 6. 1 で 2. 3. と回答された方>

問 6. 3 参加しないと思う主な理由は何ですか？ (n=324) SA

- 「忙しくて時間がない」が最も多かった。

1.	忙しくて時間がない	148件	(45.7%)
2.	市民・企業・学校等と関わることに抵抗感がある	19件	(5.9%)
3.	生物多様性に関する取組に興味がない	44件	(13.6%)
4.	面倒である	47件	(14.5%)
5.	その他	66件	(20.4%)
	総数	324件	



◇ その他回答は次の通り

- ・ アウトドアが苦手です。
- ・ 体調が悪い為。
- ・ OUTPUT の仕方に期待感がない。
- ・ 体力がない。
- ・ 1 に近い回答ですが地域ごとの考え方のレベルアップが必要と思う。
- ・ 高齢のため。
- ・ 生物に関することだけなら参加しないと思います。範囲を広げて生物から食や環境への影響などの話を聞きたいです。
- ・ 人数が多くて講師の話を聞くだけで終わりそうだから。
- ・ イベント等に参加することが好きではない。

問7. あなたは、生物多様性の保全に向けて、岡山市にどのような取組に力を入れてほしいですか？（複数回答可）（n=403） MA

- 「貴重な生きもの・身近な生きものがすむ環境の保全」、「自然観察会・体験イベントなど、自然と触れ合う機会を増やす」及び「街路樹や緑地、ビオトープの設置および整備」が多く、次いで「インターネットやSNSを活用した生きものや自然の情報、生物多様性に関する取組・活動情報などの情報発信」が多かった。

1.	セミナーや講座など自然に関する学習機会を増やす	58件	(14.4%)
2.	企業や民間団体、個人による生物多様性の保全活動を支援する	72件	(17.9%)
3.	自然観察会・体験イベントなど、自然と触れ合う機会を増やす	153件	(38.0%)
4.	貴重な生きもの・身近な生きものがすむ環境の保全や整備	181件	(44.9%)
5.	街路樹や緑地、ビオトープの設置および整備	146件	(36.2%)
6.	岡山市・学校・専門家・企業や団体・市民などが交流できる場所をつくる	59件	(14.6%)
7.	インターネットやSNSを活用した生きものや自然の情報、生物多様性に関する取組・活動情報などの情報発信	123件	(30.5%)
8.	その他	17件	(4.2%)
	総数	403件	



◇ その他回答は次の通り

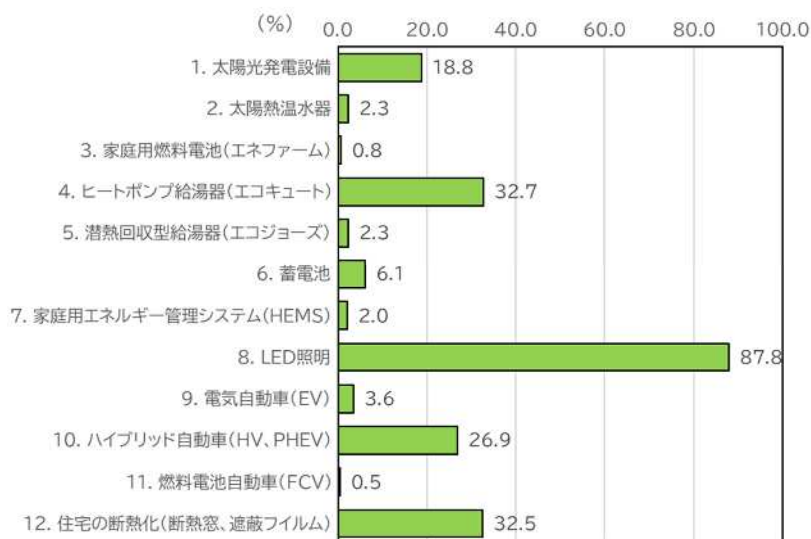
- ・ ボトムアップにもっと力を入れる。
- ・ セミナーや講座を家庭から受講できる様にする。
- ・ 体験型ツアー。
- ・ 地上波活用。
- ・ 生物多様性がよくわからない。

- ・ 身の周りの環境が変わっていくと実感できる。

問8. 1 あなたの家庭では、省エネルギー、再生可能エネルギー関連でどのような機器を利用していますか？（複数回答可）（n=394） MA

- 「LED 照明」が 87.8%で顕著に多かった。その他、「ヒートポンプ給湯器（エコキュート）」（32.7%）、「住宅の断熱化（断熱窓、遮蔽フィルム）」（32.5%）、「ハイブリッド自動車（HV、PHEV）」（26.9%）等についても、比較的多かった。

1.	太陽光発電設備	74件	(18.8%)
2.	太陽熱温水器	9件	(2.3%)
3.	家庭用燃料電池（エネファーム）	3件	(0.8%)
4.	ヒートポンプ給湯器（エコキュート）	129件	(32.7%)
5.	潜熱回収型給湯器（エコジョーズ）	9件	(2.3%)
6.	蓄電池	24件	(6.1%)
7.	家庭用エネルギー管理システム（HEMS）	8件	(2.0%)
8.	LED照明	346件	(87.8%)
9.	電気自動車（EV）	14件	(3.6%)
10.	ハイブリッド自動車（HV、PHEV）	106件	(26.9%)
11.	燃料電池自動車（FCV）	2件	(0.5%)
12.	住宅の断熱化（断熱窓、遮蔽フィルム）	128件	(32.5%)
	総数	394件	



問8. 2 <問8. 1>で選択した省エネルギー、再生可能エネルギー関連の機器以外で、今後導入を検討または予定している機器はありますか？（複数回答可）（n=227） MA

- 「ハイブリッド自動車（HV、PHEV）」が 25.1%で最も多く、次いで「住宅の断熱化（断熱窓、遮蔽フィルム）」、「蓄電池」、「LED 照明」及び「電気自動車（EV）」が 20%前後と多かった。

1.	太陽光発電設備		30件	(13.2%)
2.	太陽熱温水器		8件	(3.5%)
3.	家庭用燃料電池(エネファーム)		8件	(3.5%)
4.	ヒートポンプ給湯器(エコキュート)		19件	(8.4%)
5.	潜熱回収型給湯器(エコジョーズ)		7件	(3.1%)
6.	蓄電池		47件	(20.7%)
7.	家庭用エネルギー管理システム(HEMS)		4件	(1.8%)
8.	LED照明		46件	(20.3%)
9.	電気自動車(EV)		45件	(19.8%)
10.	ハイブリッド自動車(HV、PHEV)		57件	(25.1%)
11.	燃料電池自動車(FCV)		6件	(2.6%)
12.	住宅の断熱化(断熱窓、遮蔽フィルム)		50件	(22.0%)
		総数	227件	



問 8. 3 <問 8. 2>で省エネルギー、再生可能エネルギー関連の機器の導入を検討または予定している場合、その主な理由は何ですか？(複数回答可)(n=206) MA

- 「光熱費の負担軽減になると思った」が60.2%と突出して多く、次いで「環境に良い(CO₂を削減できる)と思った」(39.8%)が多かった。

1.	住宅購入時にメーカーに勧められた		10件	(4.9%)
2.	光熱費の負担軽減になると思った		124件	(60.2%)
3.	機器の値段が下がってきた		16件	(7.8%)
4.	環境に良い(CO ₂ を削減できる)と思った		82件	(39.8%)
5.	補助制度があった		39件	(18.9%)
6.	その他		17件	(8.3%)
		総数	206件	



◇ その他回答は次の通り

- ・ ガソリンの使用減のため。
- ・ エネルギーがもったいない。
- ・ 機器の老朽化もあって買い替えるなら省エネ給湯器を検討。
- ・ 結露の改善、住環境の改善のため。
- ・ 防災・減災につながると考えた。
- ・ 夏暑く、冬寒い。
- ・ 照明機器が熱をもたない。

問 8. 4 省エネルギー、再生可能エネルギー関連の機器を導入していない、または導入の予定がない場合、その主な理由は何ですか？（複数回答可）（n=273） MA

➤ 「導入負担が大きい」が 65.9% で突出して多かった。

1. 導入負担が大きい	180件	(65.9%)
2. 光熱費の負担軽減効果が小さい	25件	(9.2%)
3. 導入が可能なかわからない	47件	(17.2%)
4. 導入できる場所がない(賃貸など)	45件	(16.5%)
5. その他	31件	(11.4%)
総数	273件	



◇ その他回答は次の通り

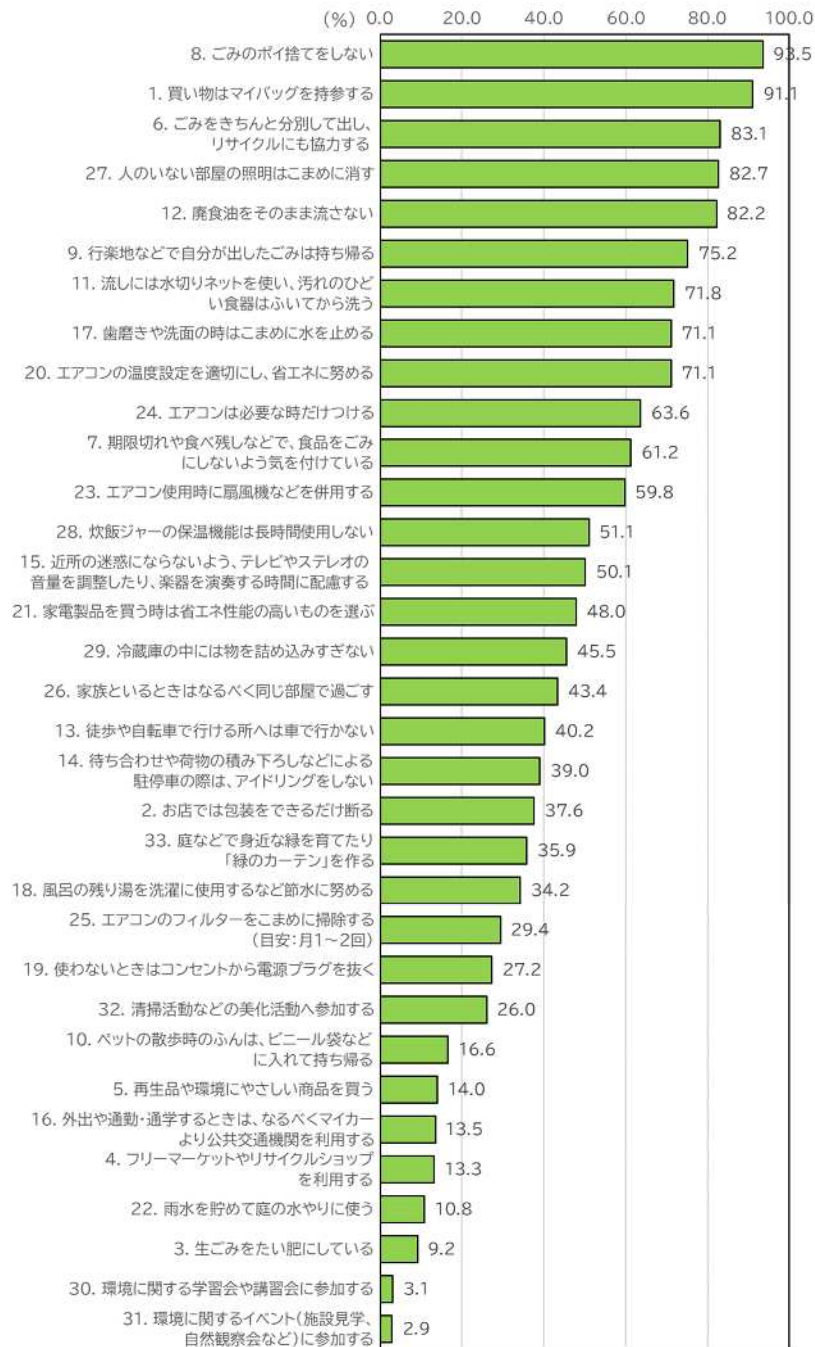
- ・ 補助金の仕組みが利権になっているから。
- ・ 機器の寿命が短い。
- ・ 将来を考えて本当に環境にとって良いか否か考えてしまう。
- ・ 借家のため。
- ・ 本当に環境に良いとは思えない。
- ・ まだ買替の時期が来ていない。
- ・ 今あるものが使えなくなっから思っている。
- ・ 導入可能なものは、すでに取り入れている。
- ・ 設備の費用負担が高すぎる。
- ・ 必要性を感じていない。

問9. 1 あなたの家では、日ごろ、どのような環境保全または環境によい行動をしていますか？

(複数回答可) (n=415) MA

- 全選択肢 (33 個) について、例えば 70%以上の選択肢だけをみても、「1. 買い物はマイバッグを持参する」、「6. ごみをきちんと分別して出し、リサイクルにも協力する」、「8. ごみのポイ捨てをしない」、「9. 行楽地などで自分が出したごみは持ち帰る」、「11. 流しには水切りネットを使い、汚れのひどい食器はふいてから洗う」、「12. 廃食油をそのまま流さない」、「17. 歯磨きや洗面の時はこまめに水を止める」、「20. エアコンの温度設定を適切にし、省エネに努める」、「27. 人のいない部屋の照明はこまめに消す」の 9 項目が挙がるなど、様々な行動を実践していることが明らかになった。

1.	買い物はマイバッグを持参する	378件	(91.1%)
2.	お店では包装をできるだけ断る	156件	(37.6%)
3.	生ごみをたい肥にしている	38件	(9.2%)
4.	フリーマーケットや リサイクルショップを利用する	55件	(13.3%)
5.	再生品や環境にやさしい商品を買う	58件	(14.0%)
6.	ごみをきちんと分別して出し、 リサイクルにも協力する	345件	(83.1%)
7.	期限切れや食べ残しなどで、 食品をごみにしないよう気を付けている	254件	(61.2%)
8.	ごみのポイ捨てをしない	388件	(93.5%)
9.	行楽地などで自分が出したごみは持ち帰る	312件	(75.2%)
10.	ペットの散歩時のふんは、 ビニール袋などに入れて持ち帰る	69件	(16.6%)
11.	流しには水切りネットを使い、 汚れのひどい食器はふいてから洗う	298件	(71.8%)
12.	廃食油をそのまま流さない	341件	(82.2%)
13.	徒歩や自転車で行ける所へは車で行かない	167件	(40.2%)
14.	待ち合わせや荷物の積み下ろしなどによる 駐停車の際は、アイドリングをしない	162件	(39.0%)
15.	近所の迷惑にならないよう、 テレビやステレオの音量を調整したり、 楽器を演奏する時間に配慮する	208件	(50.1%)
16.	外出や通勤・通学するときは、 なるべくマイカーより公共交通機関を利用する	56件	(13.5%)
17.	歯磨きや洗面の時はこまめに水を止める	295件	(71.1%)
18.	風呂の残り湯を洗濯に使用するなど節水に努める	142件	(34.2%)
19.	使わないときはコンセントから電源プラグを抜く	113件	(27.2%)
20.	エアコンの温度設定を適切にし、省エネに努める	295件	(71.1%)
21.	家電製品を買う時は省エネ性能の高いものを選ぶ	199件	(48.0%)
22.	雨水を貯めて庭の水やりに使う	45件	(10.8%)
23.	エアコン使用時に扇風機などを併用する	248件	(59.8%)
24.	エアコンは必要な時だけつける	264件	(63.6%)
25.	エアコンのフィルターを こまめに掃除する (目安: 月1~2回)	122件	(29.4%)
26.	家族といるときはなるべく同じ部屋で過ごす	180件	(43.4%)
27.	人のいない部屋の照明はこまめに消す	343件	(82.7%)
28.	炊飯ジャーの保温機能は長時間使用しない	212件	(51.1%)
29.	冷蔵庫の中には物を詰め込みすぎない	189件	(45.5%)
30.	環境に関する学習会や講習会に参加する	13件	(3.1%)
31.	環境に関するイベント (施設見学、自然観察会など)に参加する	12件	(2.9%)
32.	清掃活動などの美化活動へ参加する	108件	(26.0%)
33.	庭などで身近な緑を育てたり 「緑のカーテン」を作る	149件	(35.9%)
	総数	415件	



問 9. 2 あなたやあなたの家庭では、日ごろ、環境保全又は環境によい行動にどの程度取り組んでいますか？ (n=407) SA

➤ 「必ず取り組んでいる」、「時々取り組んでいる」の合計が 83.5%であった。

1.	必ず取り組んでいる		79件	(19.4%)
2.	時々取り組んでいる		261件	(64.1%)
3.	ほとんど取り組んでいない		56件	(13.8%)
4.	全く取り組んでいない		11件	(2.7%)
		総数	407件	

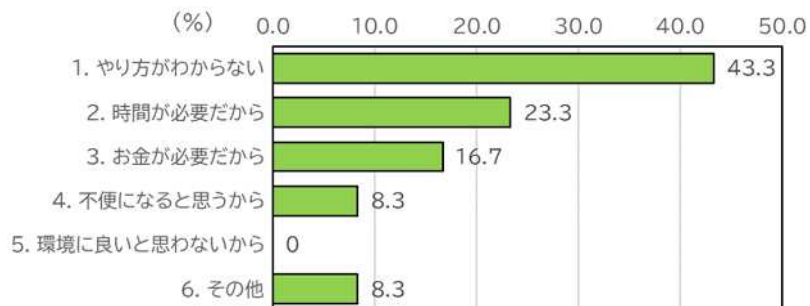


<問 9. 2 で「ほとんど取り組んでいない」、「全く取り組んでいない」と回答された方>

問 9. 3 取り組まない主な理由は何ですか？ (n=60) SA

- 「やり方がわからない」が 43.3% で最も多かったが、それ以外にも「時間が必要だから」(23.3%) や「お金が必要だから」(16.7%) も一定の割合であり、取り組むことができない現状にある人もいることが示唆された。

1.	やり方がわからない		26件	(43.3%)
2.	時間が必要だから		14件	(23.3%)
3.	お金が必要だから		10件	(16.7%)
4.	不便になると思うから		5件	(8.3%)
5.	環境に良いと思わないから		0件	(0.0%)
6.	その他		5件	(8.3%)
		総数	60件	



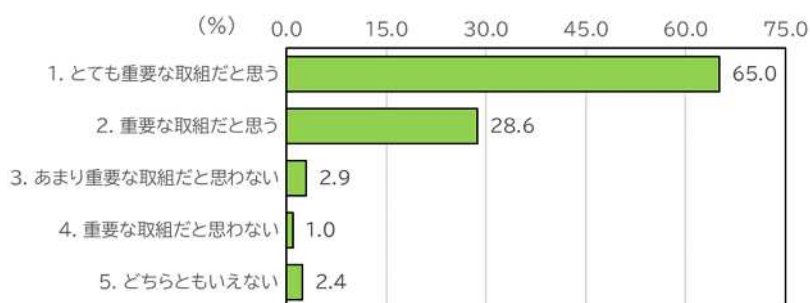
◇ その他回答は次の通り

- ・ 気にしていない。
- ・ 高齢で体力がない。
- ・ 自分なりにきちんと日々を過ごす様
している。

問10. 1 「地球温暖化対策」についてどう思いますか。(n=409) SA

- 「とても重要な取組だと思う」と「重要な取組だと思う」の合計が 93.6% であり、地球温暖化対策を重要ととらえている人がほとんどであった。

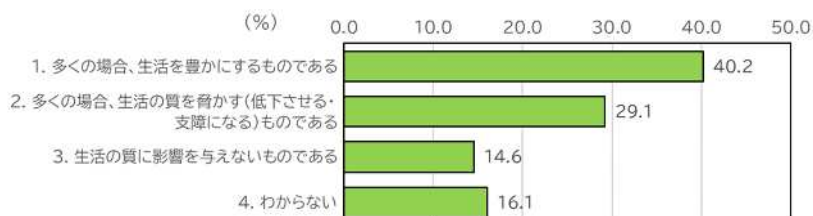
1.	とても重要な取組だと思う	266件	(65.0%)
2.	重要な取組だと思う	117件	(28.6%)
3.	あまり重要な取組だと思わない	12件	(2.9%)
4.	重要な取組だと思わない	4件	(1.0%)
5.	どちらともいえない	10件	(2.4%)
	総数	409件	



問 10. 2 あなたにとって、「地球温暖化対策」とはどのようなものだと感じますか。(n=398) SA

- 「多くの場合、生活を豊かにするものである」が40.2%と最も多く、次いで「多くの場合、生活の質を脅かす（低下させる・支障になる）ものである」が29.1%であった。

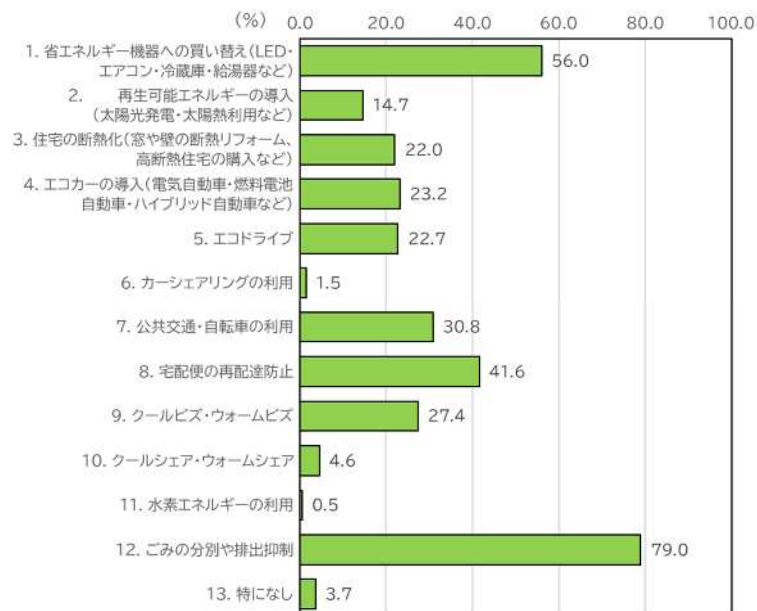
1.	多くの場合、生活を豊かにするものである	160件	(40.2%)
2.	多くの場合、生活の質を脅かす (低下させる・支障になる)ものである	116件	(29.1%)
3.	生活の質に影響を与えないものである	58件	(14.6%)
4.	わからない	64件	(16.1%)
	総数	398件	



問 10. 3 あなたが「現在、取り組んでいる対策」は何ですか？（複数回答可）(n=409) MA

- 「ごみの分別や排出抑制」が79.0%で最も多く、次いで「省エネルギー機器への買い替え（LED・エアコン・冷蔵庫・給湯器など）」が56.0%が多かった。一方、選択率が低かった選択肢は「水素エネルギーの利用」(0.5%)、「カーシェアリングの利用」(1.5%)及び「クールシェア・ウォームシェア」(4.6%)であった。それ以外で「特になし」を除く7つの選択肢についてはそれぞれ14.7%～41.6%の割合で選択されており、市民が現在取り組んでいる対策は多岐に渡ることが示された。

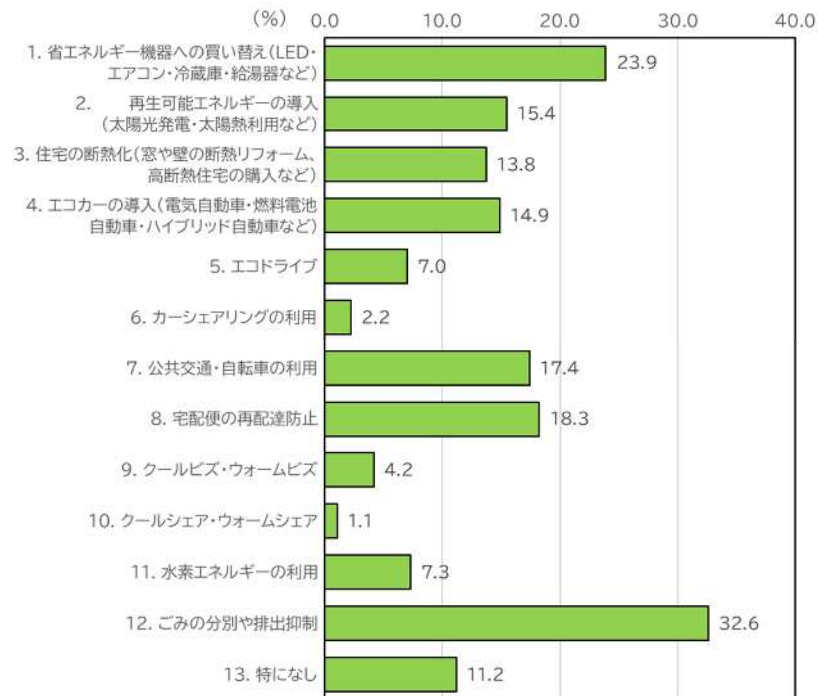
1.	省エネルギー機器への買い替え (LED・エアコン・冷蔵庫・給湯器など)	229件	(56.0%)
2.	再生可能エネルギーの導入 (太陽光発電・太陽熱利用など)	60件	(14.7%)
3.	住宅の断熱化(窓や壁の 断熱リフォーム、高断熱住宅の購入など)	90件	(22.0%)
4.	エコカーの導入(電気自動車・ 燃料電池自動車・ハイブリッド自動車など)	95件	(23.2%)
5.	エコドライブ	93件	(22.7%)
6.	カーシェアリングの利用	6件	(1.5%)
7.	公共交通・自転車の利用	126件	(30.8%)
8.	宅配便の再配達防止	170件	(41.6%)
9.	クールビズ・ウォームビズ	112件	(27.4%)
10.	クールシェア・ウォームシェア	19件	(4.6%)
11.	水素エネルギーの利用	2件	(0.5%)
12.	ごみの分別や排出抑制	323件	(79.0%)
13.	特になし	15件	(3.7%)
	総数	409件	



問 10. 4 あなたが「今後、積極的に取り組む必要があると思う対策」は何ですか？（回答は2つまで）(n=356) 2LA

- 「ごみの分別や排出抑制」(32.6%) が最も多く、次いで「省エネルギー機器への買い替え(LED・エアコン・冷蔵庫・給湯器など)」(23.9%) が多かった。一方、選択率が低かった選択肢は「クールシェア・ウォームシェア」(1.1%)、「カーシェアリングの利用」(2.2%)、「クールビズ・ウォームビズ」(4.2%)、「エコドライブ」(7.0%)、「水素エネルギーの利用」(7.3%) 等であった。これらの傾向は、前問(問 10.4)の結果と同様の傾向を示した。

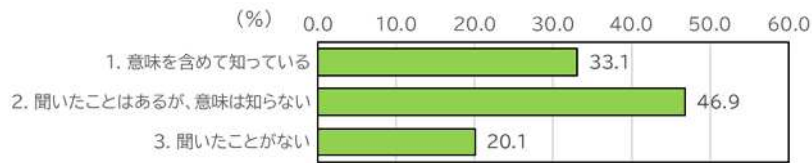
1.	省エネルギー機器への買い替え (LED・エアコン・冷蔵庫・給湯器など)	85件	(23.9%)
2.	再生可能エネルギーの導入 (太陽光発電・太陽熱利用など)	55件	(15.4%)
3.	住宅の断熱化(窓や壁の 断熱リフォーム、高断熱住宅の購入など)	49件	(13.8%)
4.	エコカーの導入(電気自動車・ 燃料電池自動車・ハイブリッド自動車など)	53件	(14.9%)
5.	エコドライブ	25件	(7.0%)
6.	カーシェアリングの利用	8件	(2.2%)
7.	公共交通・自転車の利用	62件	(17.4%)
8.	宅配便の再配達防止	65件	(18.3%)
9.	クールビズ・ウォームビズ	15件	(4.2%)
10.	クールシェア・ウォームシェア	4件	(1.1%)
11.	水素エネルギーの利用	26件	(7.3%)
12.	ごみの分別や排出抑制	116件	(32.6%)
13.	特になし	40件	(11.2%)
	総数	356件	



問 10. 5 あなたは、「気候変動への適応」という言葉を知っていますか？ (n=399) SA

- 「意味を含めて知っている」(33.1%)、「聞いたことはあるが、意味は知らない」(46.9%)の合計が80%であることから、「気候変動への適応」という用語については比較的広く浸透しているものの、その意味を理解している人は3割程度にとどまることが示唆された。

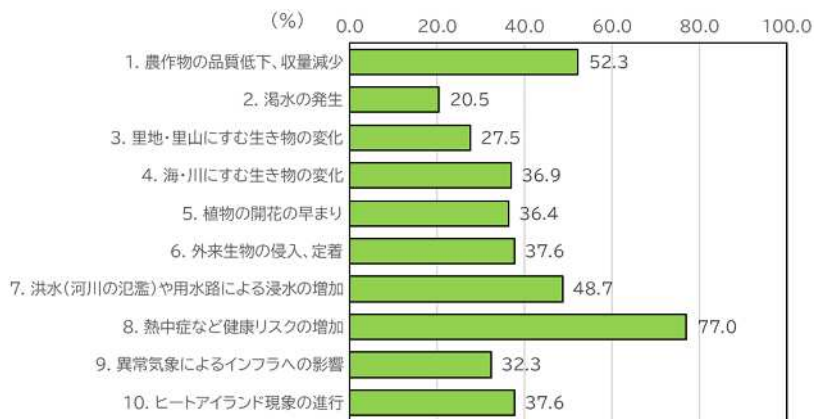
1.	意味を含めて知っている	132件	(33.1%)
2.	聞いたことはあるが、意味は知らない	187件	(46.9%)
3.	聞いたことがない	80件	(20.1%)
	総数	399件	



**問 10. 6 岡山市で気候変動（地球温暖化を含む）の影響を受けていると感じるものは何だと思
いますか？（複数回答可）（n=396） MA**

➤ 「熱中症など健康リスクの増加」が77.0%で突出して多く、次いで「農作物の品質低下、収量減少」(52.3%) 及び「洪水（河川の氾濫）や用水路による浸水の増加」（48.7%）が多かった。その他の選択肢についてもいずれも 20%以上（20.5%～37.6%）であり、市民が感じている影響は多岐に渡ることが示唆された。

1.	農作物の品質低下、収量減少	207件	(52.3%)
2.	渇水の発生	81件	(20.5%)
3.	里地・里山にすむ生き物の変化	109件	(27.5%)
4.	海・川にすむ生き物の変化	146件	(36.9%)
5.	植物の開花の早まり	144件	(36.4%)
6.	外来生物の侵入、定着	149件	(37.6%)
7.	洪水（河川の氾濫）や用水路による浸水の増加	193件	(48.7%)
8.	熱中症など健康リスクの増加	305件	(77.0%)
9.	異常気象によるインフラへの影響	128件	(32.3%)
10.	ヒートアイランド現象の進行	149件	(37.6%)
	総数	396件	

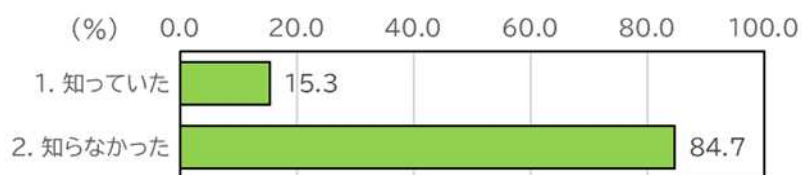


問 10. 7 岡山市では、2050 年までに地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排出を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」を目指しています。あなたはこのことを知っていましたか。（n=404）

SA

➤ 「知らなかった」が84.7%であった。

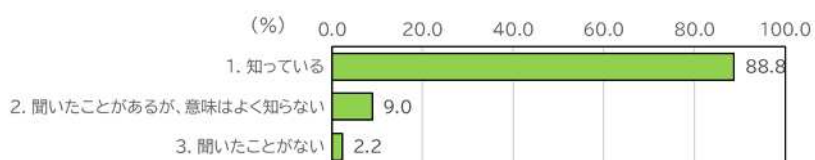
1.	知っていた	62件	(15.3%)
2.	知らなかった	342件	(84.7%)
	総数	404件	



問11. 近年「海洋ごみ（海ごみ）」が問題として取り上げられることが多くなっています。あなたは「海洋ごみ（海ごみ）」問題を知っていますか。(n=401) SA

- 「知っている」が88.8%と突出して多く、「聞いたことがあるが、意味はよく知らない」(9.0%)と合わせると97.8%の市民が知っている、もしくは聞いたことがあと回答しており、ほぼすべての市民が知っている状況であった。

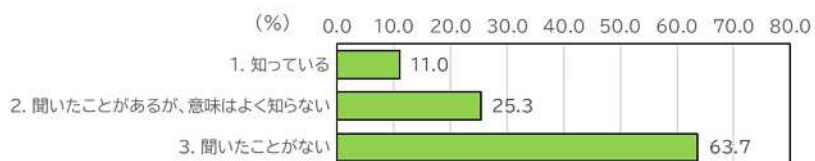
1.	知っている		356件	(88.8%)
2.	聞いたことがあるが、意味はよく知らない		36件	(9.0%)
3.	聞いたことがない		9件	(2.2%)
		総数	401件	



問12. あなたは「サーキュラーエコノミー」について知っていますか？(n=399) SA

- 「聞いたことがない」が63.7%で、最も多かった。

1.	知っている		44件	(11.0%)
2.	聞いたことがあるが、意味はよく知らない		101件	(25.3%)
3.	聞いたことがない		254件	(63.7%)
		総数	399件	

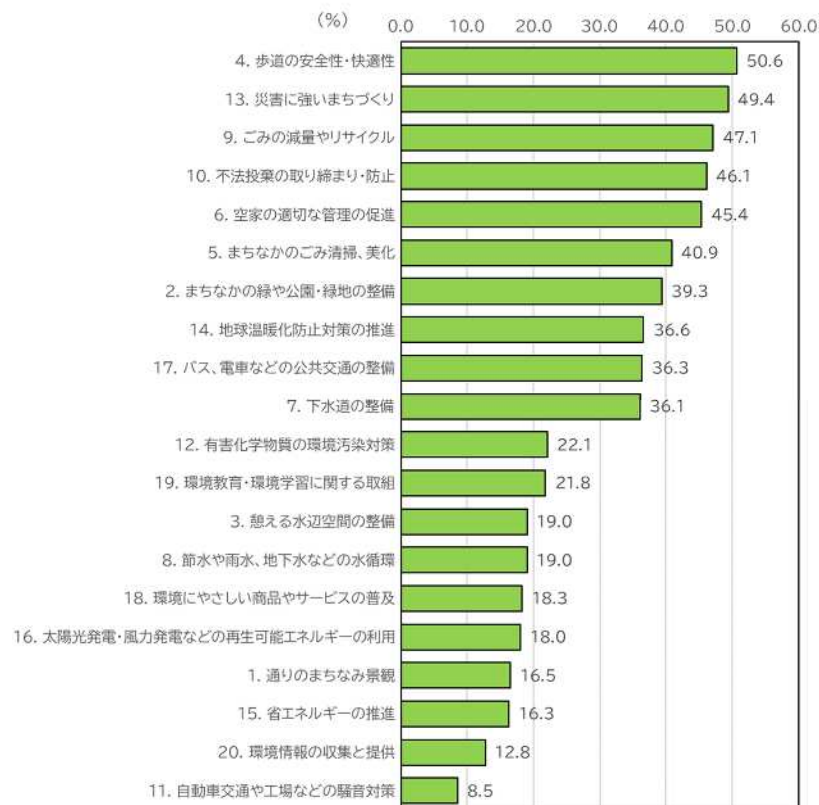


問13. 岡山市の環境保全に関する取組であなたが重要と感じる項目は何ですか？（複数回答可）

(n=399) MA

- 回答は分散し、全選択肢（20 個）が 8.5%～50.6%の幅で選択された。最も多かったのは「歩道の安全性・快適性」で 50.6%であり、次いで「災害に強いまちづくり」（49.4%）、「ごみの減量やリサイクル」（47.1%）、「不法投棄の取り締まり・防止」（46.1%）、「空家の適切な管理の促進」（45.4%）、「まちなかのごみ清掃、美化」（40.9%）、「まちなかの緑や公園・緑地の整備」（39.3%）等が多かった。

1.	通りのまちなみ景観	66件	(16.5%)
2.	まちなかの緑や公園・緑地の整備	157件	(39.3%)
3.	憩える水辺空間の整備	76件	(19.0%)
4.	歩道の安全性・快適性	202件	(50.6%)
5.	まちなかのごみ清掃、美化	163件	(40.9%)
6.	空家の適切な管理の促進	181件	(45.4%)
7.	下水道の整備	144件	(36.1%)
8.	節水や雨水、地下水などの水循環	76件	(19.0%)
9.	ごみの減量やリサイクル	188件	(47.1%)
10.	不法投棄の取り締まり・防止	184件	(46.1%)
11.	自動車交通や工場などの騒音対策	34件	(8.5%)
12.	有害化学物質の環境汚染対策	88件	(22.1%)
13.	災害に強いまちづくり	197件	(49.4%)
14.	地球温暖化防止対策の推進	146件	(36.6%)
15.	省エネルギーの推進	65件	(16.3%)
16.	太陽光発電・風力発電などの再生可能エネルギーの利用	72件	(18.0%)
17.	バス、電車などの公共交通の整備	145件	(36.3%)
18.	環境にやさしい商品やサービスの普及	73件	(18.3%)
19.	環境教育・環境学習に関する取組	87件	(21.8%)
20.	環境情報の収集と提供	51件	(12.8%)
	総数	399件	



問14. あなた自身が環境保全への取組に関わろうとするときに、行政に対してどのようなことを望みますか？（複数回答可）（n=383）MA

- 「子どもたちへの各種体験学習や環境教育の推進」が51.2%と多く、次いで「市民・事業者が利用しやすい環境情報の収集と提供」が37.9%で多かった。その他、「その他」を除く3つの選択肢については、27.4%～31.6%の比較的高い割合を示した。

1.	市民が参加しやすい環境学習機会の提供	105件	(27.4%)
2.	市民・事業者が利用しやすい環境情報の収集と提供	145件	(37.9%)
3.	子どもたちへの各種体験学習や環境教育の推進	196件	(51.2%)
4.	市民・事業者・行政が協働して取り組むネットワークづくり	114件	(29.8%)
5.	市民・事業者に対する助成制度の充実	121件	(31.6%)
6.	その他	11件	(2.9%)
	総数	383件	



◇ その他回答は次の通り

- ・ 広報。
- ・ 積極的なリーダーシップ。

問15. 岡山市の環境保全に関連したご意見やご提案等がありましたら、ご自由にお書きください。（n=93）FA

- ・ 公共交通がもっと利用しやすいように整備する必要がある。
- ・ 美しい町づくりをして市民のモラルが向上すれば環境に対してもう少し繊細になれると思う。
- ・ 未来に向け環境問題の教育を児童にしていくべき事ですが、特に高齢者に対しても、もっともっと推し進めるべきと感じます。特に高齢者は適当と甘えがある。
- ・ 地域外の所はわからない各々学区内で洗い出し対応する。
- ・ シンポジウムや学習やセミナーなどは、リモート参加出来るようにしてほしい。
- ・ 啓発資料は作らないでほしい。
- ・ このアンケートの集計結果は一般に公開されるのでしょうか？ホームページ（岡山市）に公表していただきたいと思います。費用（税金）を無駄にしないようよろしくお願いします。
- ・ イノシシが増えて農産物を荒らして困っています。
- ・ 皆に分かりやすく、環境保全に取り組めるよう地域でできることをアピールする。研修会とか難しいかたぐるしい会より町内会サロンを利用して意識をかえていく。
- ・ 空家の草刈りや、傾いた家屋のかたづけ等近所に迷惑がかからない様に注意してほしい。

い。

- ・ 市民それぞれが住んでいる環境整備は自分達で行う様にしていくことが必要と思う。各町内会ごとに行く様に市の方で啓発して頂けたらと思います。
- ・ 街に緑を増やしてほしい。
- ・ 環境保全について、市民のひろば等に一口メモでこんなことが役に立つと書いてもらえるとありがたい。
- ・ ゴミ拾いボランティア活動を行政が積極的に応援すべき。
- ・ 環境保全に影響あるインフラ整備がおこなわれている。
- ・ 街路樹の手入れに費用が掛かるかもしれないが CO2 の削減、地熱上昇の抑制など利点もあるので木を減らさないで頂きたい。
- ・ 地域ごとのゴミ出しの指導方法。地域ごとの用水路の環境美化対策。
- ・ 野焼きは原則禁されているが、近所の畑では草などを燃やしている。煙や臭いで迷惑している。これは例外とのこと。これらも環境汚染、ひいては火災発生の原因になると思う。
- ・ 家庭菜園できる市民農園を増やしてほしい。
- ・ 緑豊かな大地が、まっ黒な太陽光パネルで覆われた景観を見ると、がっかりする。自然破壊としか思えない。
- ・ マスコミ等でもっと多く呼びかける。研修やシンポジウム等を積極的に推進して意識を高める。
- ・ 環境保全に関する市からの情報発信が届いていない。
- ・ 工場の汚染された排水、空気の排出の監視。
- ・ ゴミのポイ捨てが気になるので、公園や店の前などにゴミ箱を準備したら良いと思う。
- ・ アリーナの建設は止めるべき。環境保全に反する。
- ・ 水路がキケンで汚いです。
- ・ 市民全体が興味を持ち、知識が得られるようなキャンペーン（ポイント還元）のようなイベントがあったら面白いと思います。
- ・ 経済負担が少なく、各家庭で何が省エネになるか、補助負担を具体的に市役所が示してほしい。（案でよい）
- ・ 用水路の一部を区切って、睡蓮を植えたり、魚などを飼ってきれいな水の観光にならないでしょうか。
- ・ 公民館で空き缶などを回収する取り組みは、ゴミの分別を促進することができ、実際に分別する市民の負担を軽減していると思う。県外から来た学生は地元の慣習を引きずったまま岡山で暮らしている気がするので、大学や専門学校へも掲示物等を利用して正しいゴミ分別の仕方が目に留まるようにするといいい。
- ・ 太陽光発電設備により人体への影響 20年後の廃棄処理など問題点多い。いろいろな方面から全体を見てほしい。
- ・ 環境に対する意識を教育の中で子供に刷り込む必要あり。
- ・ 地域の人々の生活の中で無理のない所から行う。
- ・ 小さい子供にも環境のことを知ってほしいので、分かりやすい体験するイベントなどがあれば参加する。
- ・ 公園の清掃や花の手入れ、ゴミの回収など、いつも身近な環境が整えられているなど感じています。住みやすい、過ごしやすい岡山市であり続けてほしいなどと思います。

3. 事業者アンケート（配布数：300；回答事業者数：141）

問1. 貴事業所について、あてはまる番号に○をつけてください。（n=110） SA

1.	農業・林業	0件	(0.0%)
2.	漁業	0件	(0.0%)
3.	鉱業・採石業・砂利採取業	1件	(0.9%)
4.	建設業	42件	(38.2%)
5.	製造業	13件	(11.8%)
6.	出来・ガス・熱供給・水道業	3件	(2.7%)
7.	情報通信業	1件	(0.9%)
8.	運輸業・郵便業	2件	(1.8%)
9.	卸売業・小売業	14件	(12.7%)
10.	金融業・保険業	2件	(1.8%)
11.	不動産業・物件賃貸行	5件	(4.5%)
12.	学術・専門・技術サービス業	1件	(0.9%)
13.	宿泊業・飲食サービス業	2件	(1.8%)
14.	生活関連サービス業・娯楽業	3件	(2.7%)
15.	教育・学習支援業	2件	(1.8%)
16.	医療・福祉	8件	(7.3%)
17.	複合サービス業	0件	(0.0%)
18.	サービス業（他に分類されない）・ 公務（他に分類されるもの除く）	10件	(9.1%)
19.	分類不能	1件	(0.9%)
	総数	110件	

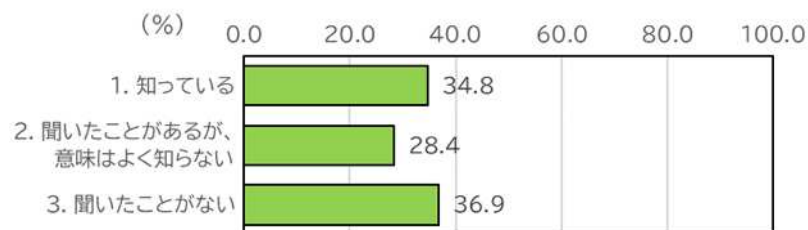


問2. 1 貴事業所は、「生物多様性」、「TNFD」、「自然共生サイト」という言葉の意味を知っていますか？あてはまる欄に○を記入してください。

(1) 生物多様性 (n=141) SA

➤ 「知っている」、「聞いたことがあるが、意味はよく知らない」の合計が 63.2%であった。

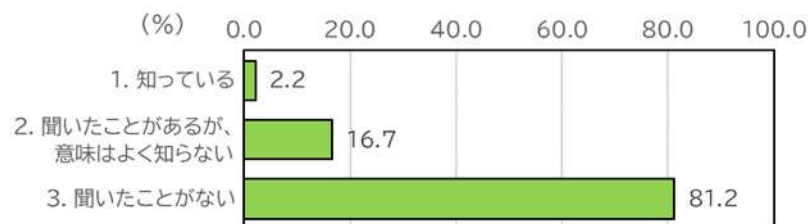
1.	知っている		49件	(34.8%)
2.	聞いたことがあるが、 意味はよく知らない		40件	(28.4%)
3.	聞いたことがない		52件	(36.9%)
		総数	141件	



(2) TNFD (n=138) SA

➤ 「聞いたことがない」が 81.2%と突出して多く、未だ事業者の間に充分浸透していない現状が示唆された。

1.	知っている		3件	(2.2%)
2.	聞いたことがあるが、 意味はよく知らない		23件	(16.7%)
3.	聞いたことがない		112件	(81.2%)
		総数	138件	



(3) 自然共生サイト (n=138) SA

➤ 「聞いたことがない」が 63.0%で、次いで「聞いたことがあるが、意味はよく知らない」が 27.5%であった。一方、「知っている」は 9.4%と少なく、未だ事業者の間に充分浸透していない現状が示唆された。

1.	知っている		13件	(9.4%)
2.	聞いたことがあるが、 意味はよく知らない		38件	(27.5%)
3.	聞いたことがない		87件	(63.0%)
		総数	138件	



<問 2.1 で「1. 知っている」と回答された方>

問 2. 2 「TNFD」及び「自然共生サイト」に参加（予定）していますか？あてはまる欄に○を記入してください。

(1) TNFD (n=3) SA

➤ 全回答が「参加する予定はない」であった。

1.	すでに参加している		0件	(0.0%)
2.	参加予定または参加したい		0件	(0.0%)
3.	参加する予定はない		3件	(100.0%)
		総数	3件	



(4) 自然共生サイト (n=13) SA

➤ 「参加する予定はない」が 84.6%と突出して多かったが、「参加予定または参加したい」も少数 (15.4%) ながら存在した。

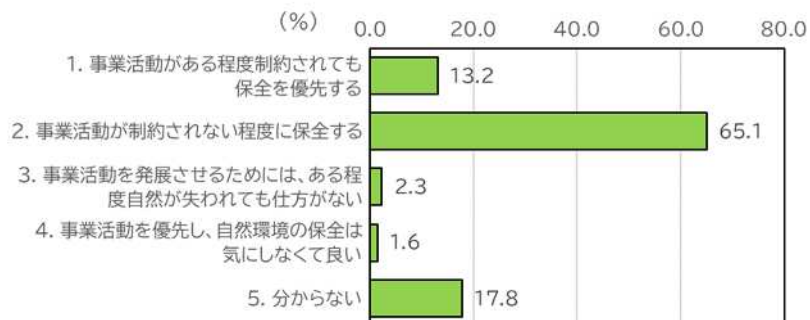
1.	すでに参加している		0件	(0.0%)
2.	参加予定または参加したい		2件	(15.4%)
3.	参加する予定はない		11件	(84.6%)
		総数	13件	



問3. 生物多様性の保全について、貴事業所の考えに最も近いものはどれですか？ (n=129) SA

- 「事業活動が制約されない程度に保全する」が65.1%と最も多かった。一方、「事業活動を優先し、自然環境の保全は気にしなくて良い」は1.6%、「事業活動を発展させるためには、ある程度自然が失われても仕方がない」は2.3%であり、自然環境への配慮の必要性を認識していない事業者は極めて少なかった。

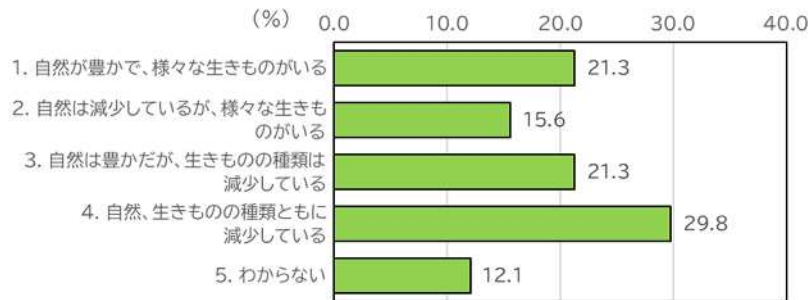
1.	事業活動がある程度制約されても保全を優先する	17件	(13.2%)
2.	事業活動が制約されない程度に保全する	84件	(65.1%)
3.	事業活動を発展させるためには、ある程度自然が失われても仕方がない	3件	(2.3%)
4.	事業活動を優先し、自然環境の保全は気にしなくて良い	2件	(1.6%)
5.	分からない	23件	(17.8%)
	総数	129件	



問4. 岡山市の自然やそれを取り巻く環境について、どのように感じていますか？ (n=141) SA

- 「自然、生きものの種類ともに減少している」と回答した事業者が最も多かった。

1.	自然が豊かで、様々な生きものがある	30件	(21.3%)
2.	自然は減少しているが、様々な生きものがある	22件	(15.6%)
3.	自然は豊かだが、生きものの種類は減少している	30件	(21.3%)
4.	自然、生きものの種類ともに減少している	42件	(29.8%)
5.	わからない	17件	(12.1%)
	総数	141件	



問5. 貴事業所の事業活動と生物多様性の保全への取組との関連性について、あてはまるものをお教えてください。(n=140) SA

- 「生物多様性は重要ではあるが、自社の企業活動との関連性は低いと考えている」が62.1%で最も多かった。一方、「自社の企業活動との関連性が高く、重要視している」が19.3%、「自社の企業活動との関連性はあるが、それほど重要視していない」が17.1%で、自社の企業活動と生物多様性の保全の関連性を認識している事業者も40%弱存在した。

1.	自社の企業活動との関連性が高く、重要視している	27件	(19.3%)
2.	自社の企業活動との関連性はあるが、それほど重要視していない	24件	(17.1%)
3.	生物多様性は重要ではあるが、自社の企業活動との関連性は低いと考えている	87件	(62.1%)
4.	その他	2件	(1.4%)
	総数	140件	



◇ その他回答は次の通り

- ・ わからない。

問6. 1 貴事業所では、環境に対する経営方針あるいは事業活動において、生物多様性についてどのように位置付けていますか？(n=141) SA

- 「事業所において、特に位置づけをせず、生物多様性の保全を考慮した事業活動もしていない」が56.7%で最も多かったが、「経営方針で明確にはしていないが、事業活動において生物多様性の保全に努めるよう配慮している」も39.0%であり、生物多様性の保全に配慮している事業者が一定数いることが示唆された。

1.	経営方針において生物多様性の保全について定めている		4件	(2.8%)
2.	経営方針で明確にはしていないが、事業活動において生物多様性の保全に務めるよう配慮している		55件	(39.0%)
3.	事業所において、特に位置づけておらず、生物多様性の保全を考慮した事業活動もしていない		80件	(56.7%)
4.	その他		2件	(1.4%)
		総数	141件	



◇ その他回答は次の通り

- ・ 排ガス規制に適應する車両に更新している。

<問 6. 1 で 1、2 とお答えの方>

問 6. 2 貴事業所で取り組んでいる保全活動についてお教えてください。(複数回答可) (n=58) MA

- 「業務における自然環境への配慮 (省エネルギー・省資源、エコドライブ、地産地消、簡易包装、製品化の際の配慮、工事における工法の工夫など)」が 82.8%と突出して多く、次いで「生物多様性に配慮した物品・サービスの購入 (森林認証や漁業認証などの認証製品、グリーン購入など)」が 48.3%と多かった。

1.	生物多様性に配慮した物品・サービスの購入 (森林認証や漁業認証などの認証製品、グリーン購入など)		28件	(48.3%)
2.	業務における自然環境への配慮 (省エネルギー・省資源、エコドライブ、地産地消、簡易包装、製品化の際の配慮、工事における工法の工夫など)		48件	(82.8%)
3.	所有地 (管理地等) の緑化の推進		9件	(15.5%)
4.	里地里山、山林の保全		6件	(10.3%)
5.	河川などの水辺の保全		12件	(20.7%)
6.	従業員への研修の実施		9件	(15.5%)
7.	自然観察会など自然に親しむイベントの実施		3件	(5.2%)
8.	外来種の駆除活動		2件	(3.4%)
9.	学校等での環境教育		4件	(6.9%)
10.	その他		3件	(5.2%)
		総数	58件	



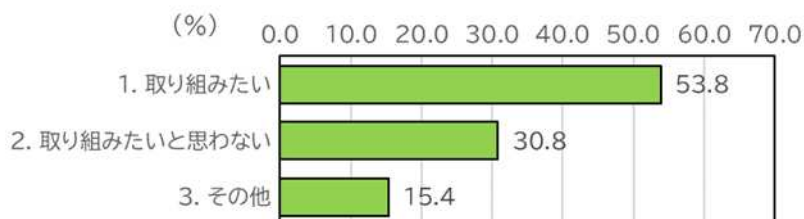
◇ その他回答は次の通り

- ・ 樹木医による街路樹の保全。
- ・ アマモ場再生活動への参加。
- ・ 排出ガス対策型建設機械の導入。

問 6. 3 貴事業所では岡山市で適当な施策があれば生物多様性の保全活動に取り組みたいと思いますか？ (n=78) SA

➤ 「取り組みたい」が53.8%と最も多かったが、「取り組みたいとは思わない」も30.8%を占めていた。

1.	取り組みたい	42件 (53.8%)
2.	取り組みたいと思わない	24件 (30.8%)
3.	その他	12件 (15.4%)
		総数 78件



◇ その他回答は次の通り

- ・ できる範囲で取り組みたい。
- ・ メリットがあれば。
- ・ わからない。

<問 6. 3 で 1 とお答えの方>

問 6. 4 貴事業所で取り組みたい保全活動は何ですか？（複数回答可）（n=42） MA

- 「事業活動で自然環境を破壊しないこと」が 59.5%で最も多く、次いで「自然環境に配慮した工法・製造方法の採用」が 26.2%であった。「自然環境保全活動への参加など社会貢献」や「市民や各種団体が行う自然保護活動への支援」、「環境に関する社内研修などの実施」は 10%~20%と少なく、特に「地域の自然の恵みを活かした商品の開発」は 4.8%と極めて少なかった。

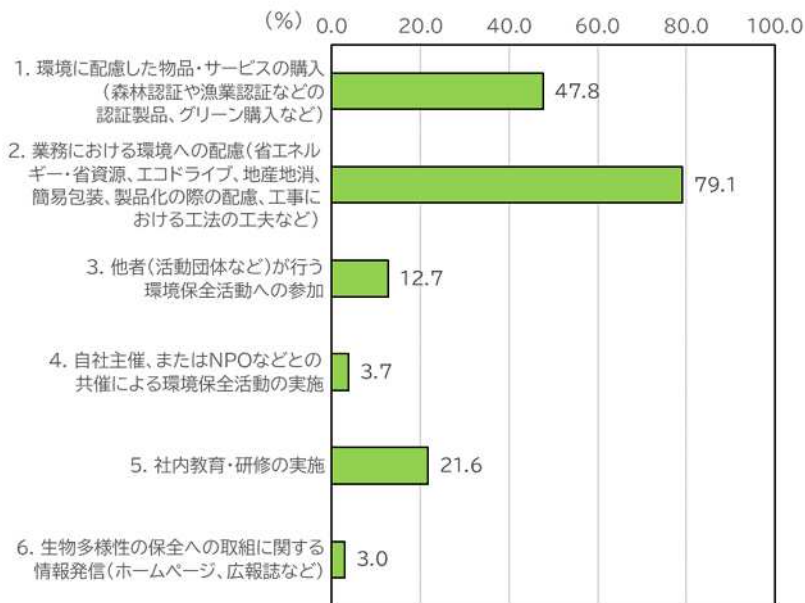
1.	事業活動で自然環境を破壊しないこと	25件	(59.5%)
2.	自然環境に配慮した工法・製造方法の採用	11件	(26.2%)
3.	地域の自然の恵みを活かした商品の開発	2件	(4.8%)
4.	自然環境保全活動への参加など社会貢献	8件	(19.0%)
5.	市民や各種団体が行う自然保護活動への支援	5件	(11.9%)
6.	環境に関する社内研修などの実施	7件	(16.7%)
7.	その他	0件	(0.0%)
	総数	42件	



問7. 1 以下に挙げた内容について、生物多様性の保全への取組として、貴事業所が取り組む予定または将来的に検討している取組はありますか？（複数回答可）（n=134） MA

- 「業務における環境への配慮（省エネルギー・省資源、エコドライブ、地産地消、簡易包装、製品化の際の配慮、工事における工法の工夫など）」が 79.1%と最も多かった。一方で、「自社主催、または NPO などとの共催による環境保全活動の実施」が 3.7%、「生物多様性の保全への取組に関する情報発信（ホームページ、広報誌など）」が 3.0%と突出して低かった。

1.	環境に配慮した物品・サービスの購入 (森林認証や漁業認証などの 認証製品、グリーン購入など)	64件	(47.8%)
2.	業務における環境への配慮 (省エネルギー・省資源、エコドライブ、 地産地消、簡易包装、製品化の際の配慮、 工事における工法の工夫など)	106件	(79.1%)
3.	他者(活動団体など)が行う 環境保全活動への参加	17件	(12.7%)
4.	自社主催、またはNPOなどとの 共催による環境保全活動の実施	5件	(3.7%)
5.	社内教育・研修の実施	29件	(21.6%)
6.	生物多様性の保全への取組に関する 情報発信(ホームページ、広報誌など)	4件	(3.0%)
	総数	134件	



<問 7. 1 で 3、4 とお答えの方>

問 7. 2 貴事業所が関心をもっている環境保全活動の取組は何ですか？(複数回答可) (n=18)

MA

- 「自然環境保全活動(草刈りやごみ拾い、植樹活動など)」が 77.8%と突出して多く、次いで「花植えや植栽など身近な環境の整備」が 38.9%であった。

1.	自然環境保全活動 (草刈りやごみ拾い、植樹活動など)	14件	(77.8%)
2.	花植えや植栽など身近な環境の整備	7件	(38.9%)
3.	シンポジウム、研修などへの参加	2件	(11.1%)
4.	子どもたちへの環境教育	2件	(11.1%)
5.	活動団体などへの援助 (基金による資金提供など)	5件	(27.8%)
6.	その他	0件	(0.0%)
	総数	18件	



問8. 貴事業所は、生物多様性保全に意欲がある企業や団体に対して、岡山市からどのような施策を実施して欲しいと考えていますか？（複数回答可）(n=131) MA

- 回答が多かった選択肢は、「補助金による支援」(45.8%)、「取組の参考となる事例集・ガイドラインなどの情報提供」(42.0%)、「取組へのインセンティブの付与」(36.6%)であった。

1.	取組へのインセンティブの付与	48件 (36.6%)
2.	補助金による支援	60件 (45.8%)
3.	市民や各種団体が行う自然保護活動への支援を行うためのマッチング	25件 (19.1%)
4.	活動場所の提供	19件 (14.5%)
5.	経営層・従業員の意識向上のためのセミナー・シンポジウムの開催	21件 (16.0%)
6.	取組の参考となる事例集・ガイドラインなどの情報提供	55件 (42.0%)
7.	その他	2件 (1.5%)
	総数	131件



◇ その他回答は次の通り

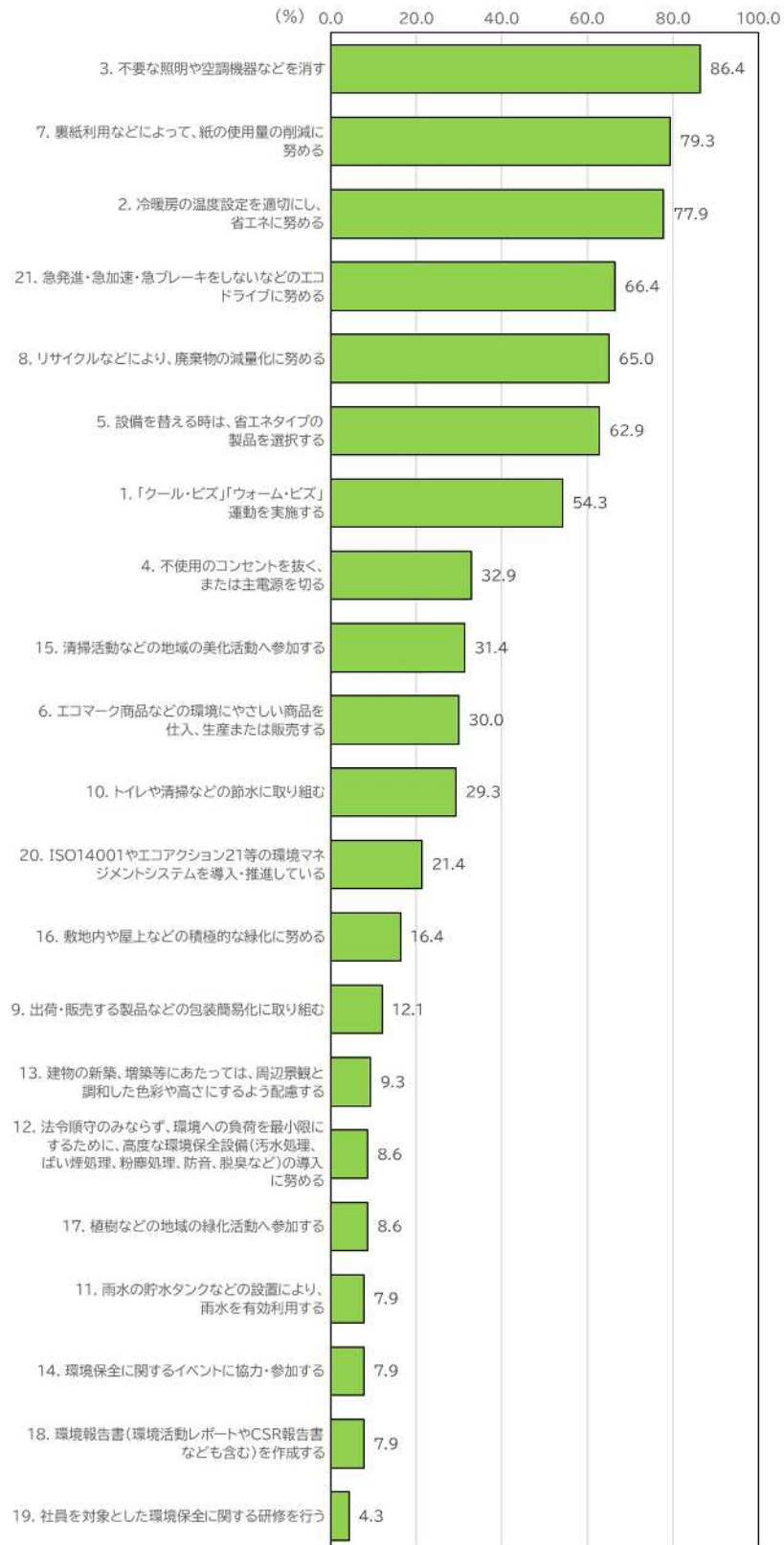
- ・ よくわからない。

問9. 貴事業所では、日ごろ、環境保全または環境によい行動にどの程度取り組んでいますか？

(複数回答可) (n=140) MA

- 全選択肢 (21 個) について、例えば選択率が 50%以上の選択肢だけをみても、「1. 『クール・ビズ』『ウォーム・ビズ』運動を実施する」、「2. 冷暖房の温度設定を適切にし、省エネに努める」、「3. 不要な照明や空調機器などを消す」、「5. 設備を替える時は、省エネタイプの製品を選択する」、「7. 裏紙利用などによって、紙の使用量の削減に努める」、「8. リサイクルなどにより、廃棄物の減量化に努める」、「21. 急発進・急加速・急ブレーキをしないなどのエコドライブに努める」の 7 項目が挙がるなど、様々な行動を実践していることが明らかになった。

1.	「クール・ビズ」「ウォーム・ビズ」運動を実施する	76件	(54.3%)
2.	冷暖房の温度設定を適切にし、省エネに努める	109件	(77.9%)
3.	不要な照明や空調機器などを消す	121件	(86.4%)
4.	不使用のコンセントを抜く、または主電源を切る	46件	(32.9%)
5.	設備を替える時は、省エネタイプの製品を選択する	88件	(62.9%)
6.	エコマーク商品などの環境にやさしい商品を仕入、生産または販売する	42件	(30.0%)
7.	裏紙利用などによって、紙の使用量の削減に努める	111件	(79.3%)
8.	リサイクルなどにより、廃棄物の減量化に努める	91件	(65.0%)
9.	出荷・販売する製品などの包装簡易化に取り組む	17件	(12.1%)
10.	トイレや清掃などの節水に取り組む	41件	(29.3%)
11.	雨水の貯水タンクなどの設置により、雨水を有効利用する	11件	(7.9%)
12.	法令順守のみならず、環境への負荷を最小限にするために、高度な環境保全設備(汚水処理、ばい煙処理、粉塵処理、防音、脱臭など)の導入に努める	12件	(8.6%)
13.	建物の新築、増築等に当たっては、周辺景観と調和した色彩や高さにするよう配慮する	13件	(9.3%)
14.	環境保全に関するイベントに協力・参加する	11件	(7.9%)
15.	清掃活動などの地域の美化活動へ参加する	44件	(31.4%)
16.	敷地内や屋上などの積極的な緑化に努める	23件	(16.4%)
17.	植樹などの地域の緑化活動へ参加する	12件	(8.6%)
18.	環境報告書(環境活動レポートやCSR報告書なども含む)を作成する	11件	(7.9%)
19.	社員を対象とした環境保全に関する研修を行う	6件	(4.3%)
20.	ISO14001やエコアクション21等の環境マネジメントシステムを導入・推進している	30件	(21.4%)
21.	急発進・急加速・急ブレーキをしないなどのエコドライブに努める	93件	(66.4%)
	総数	140件	



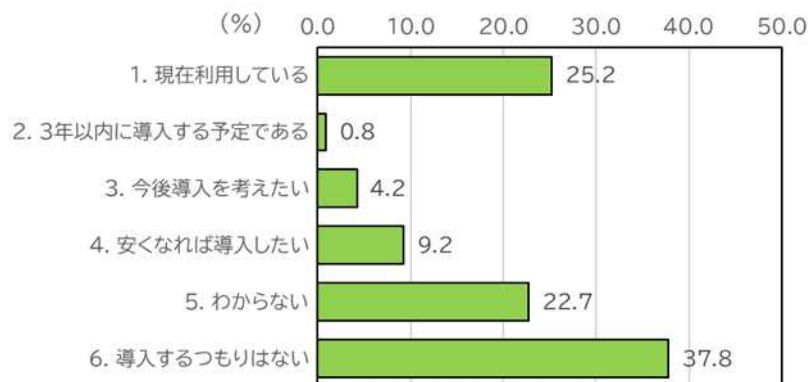
問10. 貴事業所では、省エネルギー、再生可能エネルギー関連の機器を利用していますか？以下について、それぞれあてはまる番号を1つ選び、番号を記入してください。

1. 太陽光発電設備

① 利用状況 (n=119) SA

➤ 「導入するつもりはない」が37.8%で最も多く、次いで「現在利用している」が25.2%であった。

1.	現在利用している	30件	(25.2%)
2.	3年以内に導入する予定である	1件	(0.8%)
3.	今後導入を考えたい	5件	(4.2%)
4.	安くなれば導入したい	11件	(9.2%)
5.	わからない	27件	(22.7%)
6.	導入するつもりはない	45件	(37.8%)
	総数	119件	



② 導入したきっかけ (①で「1. 現在利用している」と答えた方のみ) (n=27) SA

➤ 「光熱費の負担軽減になったと思った」が44.4%で最も多く、次いで「CO₂削減ができると思った」が22.2%であった。

1.	光熱費の負担軽減になったと思った	12件	(44.4%)
2.	危機の値段が下がってきた	1件	(3.7%)
3.	CO ₂ 削減ができると思った	6件	(22.2%)
4.	補助制度があった	5件	(18.5%)
5.	その他	3件	(11.1%)
	総数	27件	



③ 導入しない理由 (①で「6. 導入するつもりはない」と答えた方のみ) (n=44) SA

➤ 「導入の負担が大きい」が45.5%で最も多く、次いで「導入できる場所や施設がない(賃貸等)」が31.8%であった。

1.	導入負担が大きい	20件	(45.5%)
2.	導入に関する事務作業を担当できる人材がない	1件	(2.3%)
3.	導入による光熱費の負担軽減効果が小さい	2件	(4.5%)
4.	導入が可能なか判断がつかない	0件	(0.0%)
5.	導入できる場所や施設がない(賃貸等)	14件	(31.8%)
6.	その他	7件	(15.9%)
	総数	44件	

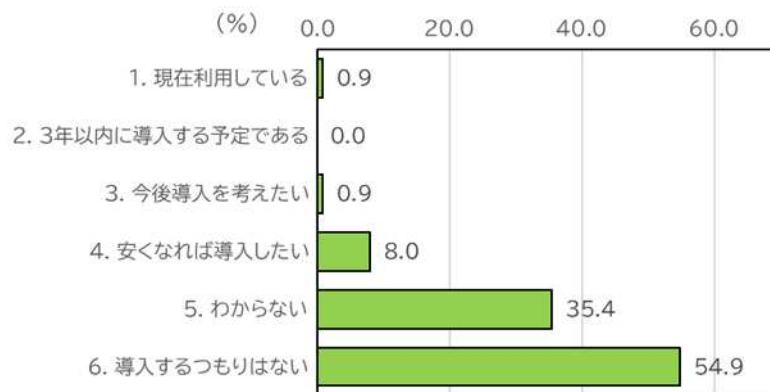


2. 太陽熱温水器

① 利用状況 (n=113) SA

➤ 「導入するつもりはない」が54.9%で最も多く、一方で「現在利用している」という回答が0.9%で最も少なかった。

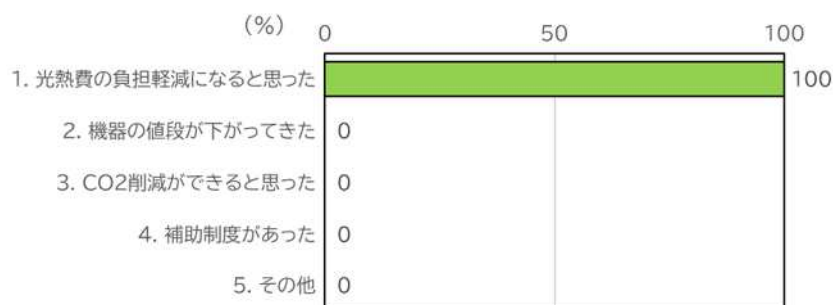
1.	現在利用している	1件	(0.9%)
2.	3年以内に導入する予定である	0件	(0.0%)
3.	今後導入を考えたい	1件	(0.9%)
4.	安くなれば導入したい	9件	(8.0%)
5.	わからない	40件	(35.4%)
6.	導入するつもりはない	62件	(54.9%)
	総数	113件	



② 導入したきっかけ (①で「1. 現在利用している」と答えた方のみ) (n=1) SA

➤ 回答は「光熱費の負担軽減になると思った」だけであった。

1.	光熱費の負担軽減になると思った	1件	(100.0%)
2.	危機の値段が下がってきた	0件	(0.0%)
3.	CO ₂ 削減ができると思った	0件	(0.0%)
4.	補助制度があった	0件	(0.0%)
5.	その他	0件	(0.0%)
	総数	1件	



③ 導入しない理由 (①で「6. 導入するつもりはない」と答えた方のみ) (n=57) SA

➤ 「導入の負担が大きい」(29.8%) が最も多く、次に「導入できる場所や施設がない (賃貸等)」(24.6%) であり、前項目「1.太陽光発電設備」と同様の傾向であった。

1.	導入負担が大きい	17件	(29.8%)
2.	導入に関する事務作業を担当できる人材がない	1件	(1.8%)
3.	導入による光熱費の負担軽減効果が小さい	10件	(17.5%)
4.	導入が可能なのか判断がつかない	3件	(5.3%)
5.	導入できる場所や施設がない (賃貸等)	14件	(24.6%)
6.	その他	12件	(21.1%)
	総数	57件	



3. 省エネ型冷暖房機（高効率のエアコン、冷温水機、ボイラーなど）

① 利用状況 (n=121) SA

➤ 「現在利用している」が43.0%で最も多かった。

1.	現在利用している	52件	(43.0%)
2.	3年以内に導入する予定である	3件	(2.5%)
3.	今後導入を考えたい	13件	(10.7%)
4.	安くなれば導入したい	16件	(13.2%)
5.	わからない	22件	(18.2%)
6.	導入するつもりはない	15件	(12.4%)
	総数	121件	



② 導入したきっかけ (①で「1. 現在利用している」と答えた方のみ) (n=48) SA

➤ 「光熱費の負担軽減になったと思った」が56.3%で最も多かった。

1.	光熱費の負担軽減になったと思った	27件	(56.3%)
2.	危機の値段が下がってきた	1件	(2.1%)
3.	CO ₂ 削減ができると思った	5件	(10.4%)
4.	補助制度があった	11件	(22.9%)
5.	その他	4件	(8.3%)
	総数	48件	



③ 導入しない理由 (①で「6. 導入するつもりはない」と答えた方のみ) (n=13) SA

➤ 「導入負担が大きい」が53.8%で最も多かった。

1.	導入負担が大きい	7件	(53.8%)
2.	導入に関する事務作業を担当できる人材がない	0件	(0.0%)
3.	導入による光熱費の負担軽減効果が小さい	1件	(7.7%)
4.	導入が可能なかの判断がつかない	1件	(7.7%)
5.	導入できる場所や施設がない (賃貸等)	2件	(15.4%)
6.	その他	2件	(15.4%)
	総数	13件	



4. LED 照明

① 利用状況 (n=130) SA

➤ 「現在利用している」が78.5%で、約8割の事業者が既に導入している結果であった。

1.	現在利用している	102件	(78.5%)
2.	3年以内に導入する予定である	6件	(4.6%)
3.	今後導入を考えたい	4件	(3.1%)
4.	安くなれば導入したい	8件	(6.2%)
5.	わからない	7件	(5.4%)
6.	導入するつもりはない	3件	(2.3%)
	総数	130件	



② 導入したきっかけ (①で「1. 現在利用している」と答えた方のみ) (n=94) SA

➤ 「光熱費の負担軽減になったと思った」が62.8%で最も多かった。

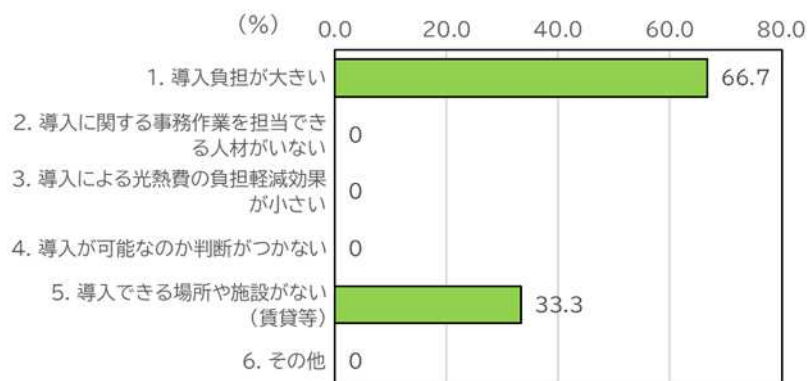
1.	光熱費の負担軽減になったと思った	59件	(62.8%)
2.	危機の値段が下がってきた	1件	(1.1%)
3.	CO ₂ 削減ができると思った	11件	(11.7%)
4.	補助制度があった	18件	(19.1%)
5.	その他	5件	(5.3%)
	総数	94件	



③ 導入しない理由 (①で「6. 導入するつもりはない」と答えた方のみ) (n=3) SA

➤ 「導入負担が大きい」が66.7%で最も多かった。

1.	導入負担が大きい	2件	(66.7%)
2.	導入に関する事務作業を担当できる人材がない	0件	(0.0%)
3.	導入による光熱費の負担軽減効果が小さい	0件	(0.0%)
4.	導入が可能なかの判断がつかない	0件	(0.0%)
5.	導入できる場所や施設がない (賃貸等)	1件	(33.3%)
6.	その他	0件	(0.0%)
		総数	3件



5. 省エネ型オフィス機器

① 利用状況 (n=116) SA

➤ 「わからない」が33.6%で最も多かったが、それを除くと、「現在利用している」(23.3%)、「今後導入を考えたい」(15.5%)、「安くなれば導入したい」(19.8%) で導入済みまたは今後の導入を考えている事業者が一定数存在することが示唆された。

1.	現在利用している	27件	(23.3%)
2.	3年以内に導入する予定である	1件	(0.9%)
3.	今後導入を考えたい	18件	(15.5%)
4.	安くなれば導入したい	23件	(19.8%)
5.	わからない	39件	(33.6%)
6.	導入するつもりはない	8件	(6.9%)
		総数	116件



② 導入したきっかけ (①で「1. 現在利用している」と答えた方のみ) (n=26) SA

➤ 「光熱費の負担軽減になると思った」が50.0%で最も多かった。

1.	光熱費の負担軽減になると思った	13件	(50.0%)
2.	危機の値段が下がってきた	3件	(11.5%)
3.	CO ₂ 削減ができると思った	4件	(15.4%)
4.	補助制度があった	0件	(0.0%)
5.	その他	6件	(23.1%)
	総数	26件	



③ 導入しない理由 (①で「6. 導入するつもりはない」と答えた方のみ) (n=8) SA

➤ 「導入負担が大きい」が50.0%で最も多かった。

1.	導入負担が大きい	4件	(50.0%)
2.	導入に関する事務作業を担当できる人材がない	0件	(0.0%)
3.	導入による光熱費の負担軽減効果が小さい	1件	(12.5%)
4.	導入が可能なのか判断がつかない	1件	(12.5%)
5.	導入できる場所や施設がない (賃貸等)	1件	(12.5%)
6.	その他	1件	(12.5%)
	総数	8件	



6. 事業活動に使用する省エネタイプの機器（ボイラーなど熱源機器、コンプレッサー、インバータなど）

① 利用状況（n=117） SA

➤ 「わからない」が45.3%で最も多かった。一方で、「現在利用している」（17.1%）、「今後導入を考えたい」（8.5%）、「安くなれば導入したい」（12.8%）などの結果から、導入済みまたは導入を考えている事業者が一定数存在することが示唆された。

1.	現在利用している	20件	(17.1%)
2.	3年以内に導入する予定である	1件	(0.9%)
3.	今後導入を考えたい	10件	(8.5%)
4.	安くなれば導入したい	15件	(12.8%)
5.	わからない	53件	(45.3%)
6.	導入するつもりはない	18件	(15.4%)
	総数	117件	



② 導入したきっかけ（①で「1. 現在利用している」と答えた方のみ）（n=18） SA

➤ 「CO₂削減ができると思った」が44.4%で最も多く、次いで「光熱費の負担軽減になると思った」が33.3%であった。

1.	光熱費の負担軽減になると思った	6件	(33.3%)
2.	危機の値段が下がってきた	1件	(5.6%)
3.	CO ₂ 削減ができると思った	8件	(44.4%)
4.	補助制度があった	2件	(11.1%)
5.	その他	1件	(5.6%)
	総数	18件	



③ 導入しない理由 (①で「6. 導入するつもりはない」と答えた方のみ) (n=17) SA

➤ 「導入負担が大きい」が52.9%で最も多かった。

1.	導入負担が大きい	9件	(52.9%)
2.	導入に関する事務作業を担当できる人材がない	0件	(0.0%)
3.	導入による光熱費の負担軽減効果が小さい	0件	(0.0%)
4.	導入が可能なかの判断がつかない	1件	(5.9%)
5.	導入できる場所や施設がない (賃貸等)	5件	(29.4%)
6.	その他	2件	(11.8%)
	総数	17件	



7. デマンド監視装置

① 利用状況 (n=116) SA

➤ 「わからない」が45.7%で最も多かったが、それを除くと、「導入するつもりはない」が28.4%で多かったが、一方で「現在利用している」も11.2%いた。

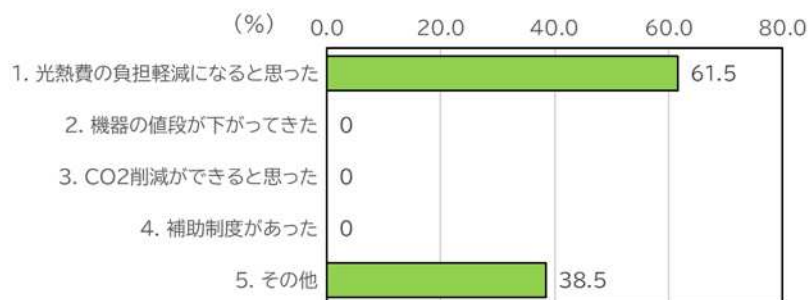
1.	現在利用している	13件	(11.2%)
2.	3年以内に導入する予定である	0件	(0.0%)
3.	今後導入を考えたい	7件	(6.0%)
4.	安くなれば導入したい	10件	(8.6%)
5.	わからない	53件	(45.7%)
6.	導入するつもりはない	33件	(28.4%)
	総数	116件	



② 導入したきっかけ (①で「1. 現在利用している」と答えた方のみ) (n=13) SA

➤ 「光熱費の負担軽減になると思った」が61.5%で最も多かった。

1.	光熱費の負担軽減になると思った	8件	(61.5%)
2.	危機の値段が下がってきた	0件	(0.0%)
3.	CO ₂ 削減ができると思った	0件	(0.0%)
4.	補助制度があった	0件	(0.0%)
5.	その他	5件	(38.5%)
	総数	13件	



③ 導入しない理由 (①で「6. 導入するつもりはない」と答えた方のみ) (n=30) SA

➤ 「導入負担が大きい」、「その他」が33.3%で最も多かった。

1.	導入負担が大きい	10件	(33.3%)
2.	導入に関する事務作業を担当できる人材がない	2件	(6.7%)
3.	導入による光熱費の負担軽減効果が小さい	1件	(3.3%)
4.	導入が可能なかの判断がつかない	4件	(13.3%)
5.	導入できる場所や施設がない (賃貸等)	3件	(10.0%)
6.	その他	10件	(33.3%)
	総数	30件	



8. 蓄電池

① 利用状況 (n=116) SA

- 「わからない」が43.1%で最も多く、それを除くと、「導入するつもりはない」が23.3%で多い一方で、「現在利用している」も9.5%おり、前項目「7.デマンド監視装置」と同様の傾向を示した。

1.	現在利用している	11件	(9.5%)
2.	3年以内に導入する予定である	0件	(0.0%)
3.	今後導入を考えたい	8件	(6.9%)
4.	安くなれば導入したい	20件	(17.2%)
5.	わからない	50件	(43.1%)
6.	導入するつもりはない	27件	(23.3%)
	総数	116件	



② 導入したきっかけ (①で「1. 現在利用している」と答えた方のみ) (n=11) SA

- 「光熱費の負担軽減になったと思った」が45.5%で最も多かった。

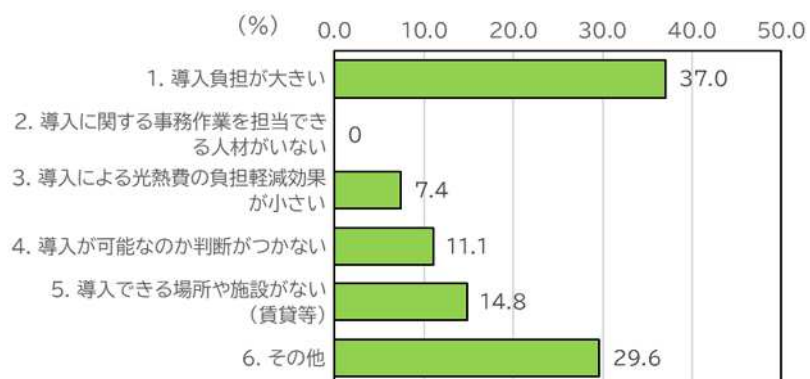
1.	光熱費の負担軽減になったと思った	5件	(45.5%)
2.	危機の値段が下がってきた	0件	(0.0%)
3.	CO ₂ 削減ができると思った	1件	(9.1%)
4.	補助制度があった	1件	(9.1%)
5.	その他	4件	(36.4%)
	総数	11件	



③ 導入しない理由 (①で「6. 導入するつもりはない」と答えた方のみ) (n=27) SA

➤ 「導入負担が大きい」37.0%で最も多かった。

1.	導入負担が大きい	10件	(37.0%)
2.	導入に関する事務作業を担当できる人材がない	0件	(0.0%)
3.	導入による光熱費の負担軽減効果が小さい	2件	(7.4%)
4.	導入が可能なのか判断がつかない	3件	(11.1%)
5.	導入できる場所や施設がない (賃貸等)	4件	(14.8%)
6.	その他	8件	(29.6%)
	総数	27件	

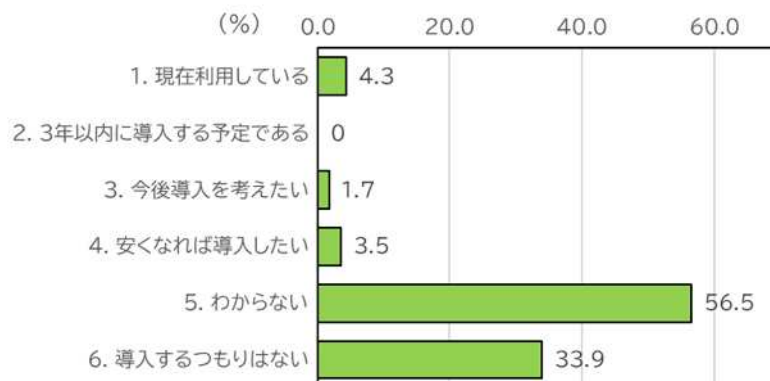


9. BEMS (ベムス)

① 利用状況 (n=115) SA

➤ 「わからない」が56.5%で最も多く、それを除くと、「導入するつもりはない」が33.9%で多い一方で、「現在利用している」は4.3%と少ないながらもおり、項目「7.デマンド監視装置」、項目「8.蓄電池」と同様の傾向を示した。

1.	現在利用している	5件	(4.3%)
2.	3年以内に導入する予定である	0件	(0.0%)
3.	今後導入を考えたい	2件	(1.7%)
4.	安くなれば導入したい	4件	(3.5%)
5.	わからない	65件	(56.5%)
6.	導入するつもりはない	39件	(33.9%)
	総数	115件	



② 導入したきっかけ (①で「1. 現在利用している」と答えた方のみ) (n=4) SA

➤ 回答は「光熱費の負担軽減になると思った」と「CO₂削減ができると思った」だけで、それぞれ50%であった。

1.	光熱費の負担軽減になると思った	2件	(50.0%)
2.	危機の値段が下がってきた	0件	(0.0%)
3.	CO ₂ 削減ができると思った	2件	(50.0%)
4.	補助制度があった	0件	(0.0%)
5.	その他	0件	(0.0%)
	総数	4件	



③ 導入しない理由 (①で「6. 導入するつもりはない」と答えた方のみ) (n=36) SA

➤ 「その他」が36.1%で最も多かったが、それを除くと「導入負担が大きい」、「導入可能なか判断がつかない」、「導入できる場所や施設がない (賃貸等)」がいずれも19.4%であった。

1.	導入負担が大きい	7件	(19.4%)
2.	導入に関する事務作業を担当できる人材がいない	0件	(0.0%)
3.	導入による光熱費の負担軽減効果が小さい	2件	(5.6%)
4.	導入が可能なか判断がつかない	7件	(19.4%)
5.	導入できる場所や施設がない (賃貸等)	7件	(19.4%)
6.	その他	13件	(36.1%)
	総数	36件	

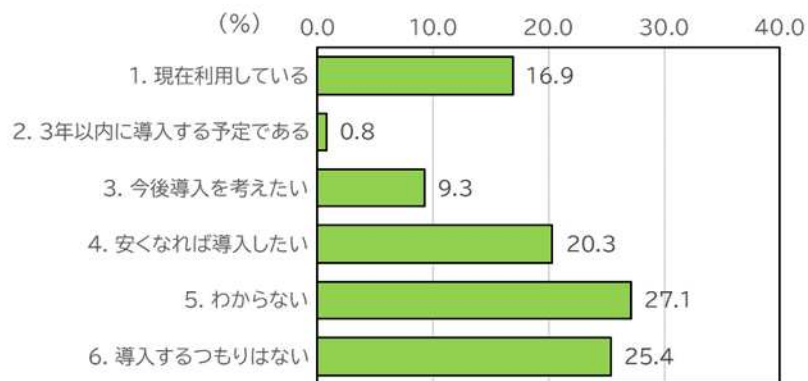


10. 電気自動車 (EV)

① 利用状況 (n=118) SA

- 「わからない」が27.1%で最も多く、次いで「導入するつもりはない」が25.4%、「安くなれば導入したい」が20.3%で多かった。

1.	現在利用している	20件	(16.9%)
2.	3年以内に導入する予定である	1件	(0.8%)
3.	今後導入を考えたい	11件	(9.3%)
4.	安くなれば導入したい	24件	(20.3%)
5.	わからない	32件	(27.1%)
6.	導入するつもりはない	30件	(25.4%)
	総数	118件	



② 導入したきっかけ (①で「1. 現在利用している」と答えた方のみ) (n=19) SA

- 「光熱費の負担軽減になったと思った」、「CO₂削減ができると思った」、「補助制度があった」がいずれも31.6%であった。

1.	光熱費の負担軽減になったと思った	6件	(31.6%)
2.	危機の値段が下がってきた	0件	(0.0%)
3.	CO ₂ 削減ができると思った	6件	(31.6%)
4.	補助制度があった	6件	(31.6%)
5.	その他	1件	(5.3%)
	総数	19件	



③ 導入しない理由 (①で「6. 導入するつもりはない」と答えた方のみ) (n=30) SA

- 「導入負担が大きい」が53.3%で最も多かった。

1.	導入負担が大きい	16件	(53.3%)
2.	導入に関する事務作業を担当できる人材がない	1件	(3.3%)
3.	導入による光熱費の負担軽減効果が小さい	3件	(10.0%)
4.	導入が可能なのか判断がつかない	3件	(10.0%)
5.	導入できる場所や施設がない (賃貸等)	1件	(3.3%)
6.	その他	6件	(20.0%)
	総数	30件	



11. ハイブリッド自動車 (HV、PHEV)

① 利用状況 (n=121) SA

➤ 「現在利用している」が 47.9%で、約 5 割の事業者が既に導入している結果であった。

1.	現在利用している	58件	(47.9%)
2.	3年以内に導入する予定である	1件	(0.8%)
3.	今後導入を考えたい	6件	(5.0%)
4.	安くなれば導入したい	10件	(8.3%)
5.	わからない	29件	(24.0%)
6.	導入するつもりはない	17件	(14.0%)
	総数	121件	



② 導入したきっかけ (①で「1. 現在利用している」と答えた方のみ) (n=48) SA

➤ 「光熱費の負担軽減になると思った」が54.2%と最も多かった。

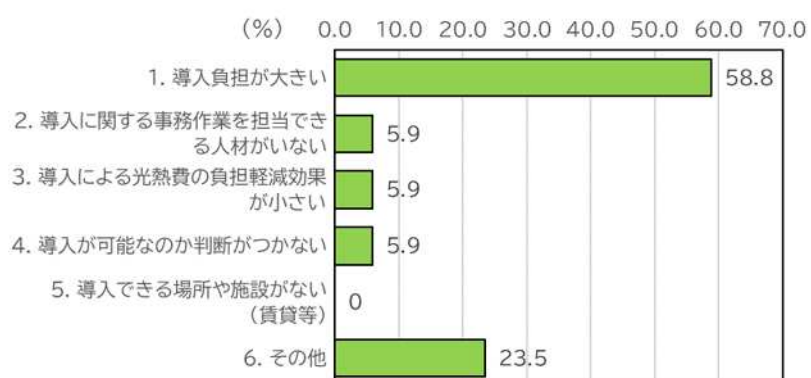
1.	光熱費の負担軽減になると思った	26件	(54.2%)
2.	危機の値段が下がってきた	0件	(0.0%)
3.	CO ₂ 削減ができると思った	15件	(31.3%)
4.	補助制度があった	2件	(4.2%)
5.	その他	5件	(10.4%)
	総数	48件	



③ 導入しない理由 (①で「6. 導入するつもりはない」と答えた方のみ) (n=17) SA

➤ 「導入の負担が大きい」58.8%で最も多かった。

1.	導入負担が大きい	10件	(58.8%)
2.	導入に関する事務作業を担当できる人材がない	1件	(5.9%)
3.	導入による光熱費の負担軽減効果が小さい	1件	(5.9%)
4.	導入が可能なのか判断がつかない	1件	(5.9%)
5.	導入できる場所や施設がない (賃貸等)	0件	(0.0%)
6.	その他	4件	(23.5%)
	総数	17件	

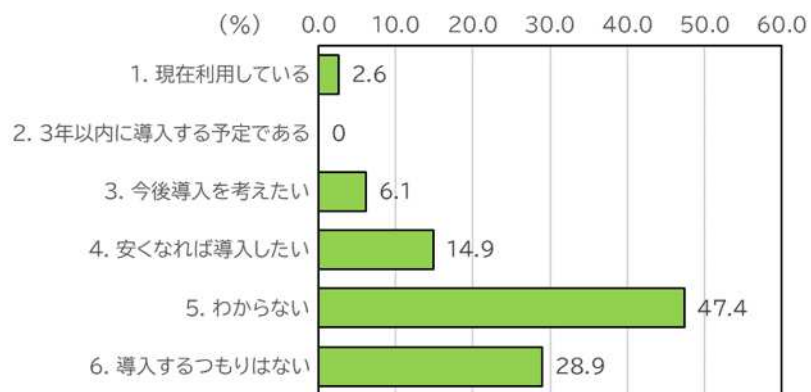


12. 燃料電池自動車 (FCV)

① 利用状況 (n=114) SA

- 「わからない」が47.4%で最も多く、それを除くと、「導入するつもりはない」が28.9%で多い一方、「現在利用している」は2.6%で、デマンド監視装置、蓄電池、BEMSと同様の傾向を示した。

1.	現在利用している	3件	(2.6%)
2.	3年以内に導入する予定である	0件	(0.0%)
3.	今後導入を考えたい	7件	(6.1%)
4.	安くなれば導入したい	17件	(14.9%)
5.	わからない	54件	(47.4%)
6.	導入するつもりはない	33件	(28.9%)
	総数	114件	



② 導入したきっかけ (①で「1. 現在利用している」と答えた方のみ) (n=3) SA

- 回答は「光熱費の負担軽減になったと思った」、「CO₂削減ができると思った」、「補助制度があった」だけで、いずれも33.3%であった。

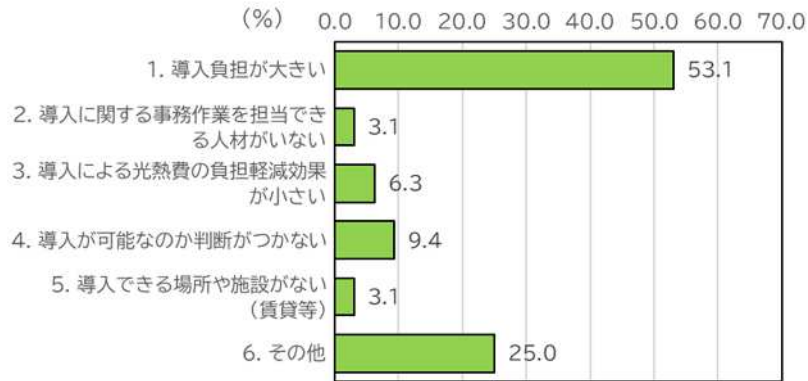
1.	光熱費の負担軽減になったと思った	1件	(33.3%)
2.	危機の値段が下がってきた	0件	(0.0%)
3.	CO ₂ 削減ができると思った	1件	(33.3%)
4.	補助制度があった	1件	(33.3%)
5.	その他	0件	(0.0%)
	総数	3件	



③ 導入しない理由 (①で「6. 導入するつもりはない」と答えた方のみ) (n=32) SA

- 「導入の負担が大きい」が53.1%で最も多かった。

1.	導入負担が大きい	17件	(53.1%)
2.	導入に関する事務作業を担当できる人材がいない	1件	(3.1%)
3.	導入による光熱費の負担軽減効果が小さい	2件	(6.3%)
4.	導入が可能なかの判断がつかない	3件	(9.4%)
5.	導入できる場所や施設がない（賃貸等）	1件	(3.1%)
6.	その他	8件	(25.0%)
	総数	32件	



問11. 気候変動（温暖化など）の影響についてお聞きします。「岡山市で気候変動の影響を受けていると感じるもの」と「岡山市で重点的に対策していくべきもの」それぞれについて、以下の選択肢からあてはまるものを3つまで選び、番号を記入してください。

1. 影響を受けていると感じるもの (n=132) 3LA

- 「従業員の熱中症などの健康リスク増加」が75.8%で突出して多く、次いで「原材料の収量や品質の低下、コスト増加」(43.9%)及び「異常気象や海面上昇などによる設備・建物の損傷や移転等のリスクの増加」(37.9%)が多かった。その他の選択肢についても「気象災害による従業員の被災や通勤の阻害」や「気象災害に被災したことによる事業活動の中断」、「顧客ニーズや消費者動向の変化」が20%前後(18.2%~22.0%)であり、事業者が感じている影響は多岐に渡ることが示唆された。

1.	異常気象や海面上昇などによる設備・建物の損傷や移転等のリスクの増加	50件	(37.9%)
2.	従業員の熱中症などの健康リスク増加	100件	(75.8%)
3.	気象災害による従業員の被災や通勤の阻害	29件	(22.0%)
4.	気象災害に被災したことによる事業活動の中断	26件	(19.7%)
5.	気象災害にサプライヤーなど関係者が被災したことによる事業活動の中断	11件	(8.3%)
6.	気候条件変化による製品、農作物などの商品品質の悪化	42件	(31.8%)
7.	原材料の収量や品質の低下、コスト増加	58件	(43.9%)
8.	顧客ニーズや消費者動向の変化	24件	(18.2%)
9.	取引や融資条件の変化	6件	(4.5%)
	総数	132件	



2. 対策していくべきもの (n=137) 3LA

- 「従業員の熱中症などの健康リスク増加」が48.2%で最も多く、次いで「原材料の収量や品質の低下、コスト増加」(35.8%)、「気象災害に被災したことによる事業活動の中断」(33.6%)、「異常気象や海面上昇などによる設備・建物の損傷や移転等のリスクの増加」(29.2%)、「気象災害による従業員の被災や通勤の阻害」(28.5%)が多かった。その他の選択肢についても20%前後(16.8%~24.8%)であり、事業者が対策の必要性を感じている影響は多岐に渡ることが示唆された。

1.	異常気象や海面上昇などによる設備・建物の損傷や移転等のリスクの増加	40件	(29.2%)
2.	従業員の熱中症などの健康リスク増加	66件	(48.2%)
3.	気象災害による従業員の被災や通勤の阻害	39件	(28.5%)
4.	気象災害に被災したことによる事業活動の中断	46件	(33.6%)
5.	気象災害にサプライヤーなど関係者が被災したことによる事業活動の中断	23件	(16.8%)
6.	気候条件変化による製品、農作物などの商品品質の悪化	34件	(24.8%)
7.	原材料の収量や品質の低下、コスト増加	49件	(35.8%)
8.	顧客ニーズや消費者動向の変化	29件	(21.2%)
9.	取引や融資条件の変化	24件	(17.5%)
	総数	137件	



問12. 「気候変動への適応」という言葉を知っていますか？ (n=138) SA

- 「意味も含めて知っている」及び「言葉は知っているが、意味は知らない」がいずれも42.0%であり、言葉の認知度だけをみると8割以上と高いが、その半数は意味までは理解していない状況であることが示された。

1.	意味も含めて知っている	58件	(42.0%)
2.	言葉は知っているが、意味は知らない	58件	(42.0%)
3.	言葉自体を知らない	22件	(15.9%)
	総数	138件	

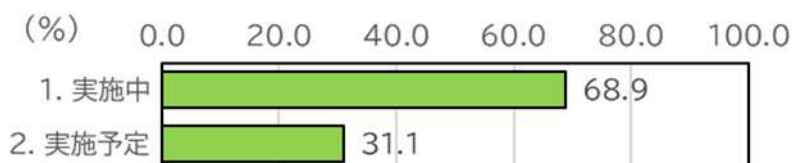


問13. 気候変動に対して、貴事業所で取り組んでいる適応策はありますか。あてはまる欄に○を記入してください。

- 全選択肢について、「実施中」を選択した事業者の割合は30.0%~68.9%であり、幅はあるものの何らかの適応策には取り組んでいる状況であることが示された。

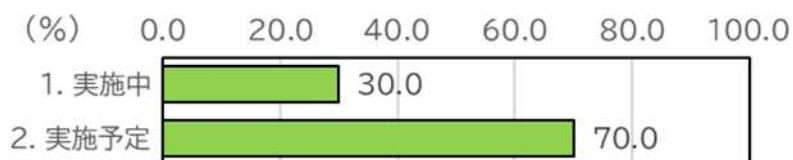
1. 対策機器（設備）の導入 (n=45) SA

1.	実施中	31件	(68.9%)
2.	実施予定	14件	(31.1%)
	総数	45件	



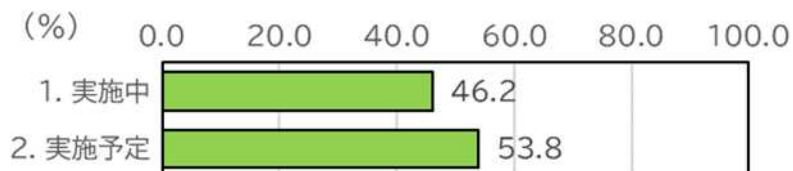
2. 関連商品の開発 (n=10) SA

1.	実施中		3件	(30.0%)
2.	実施予定		7件	(70.0%)
		総数	10件	



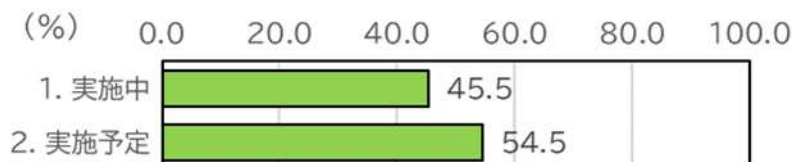
3. 計画の策定 (BCP 等) (n=26) SA

1.	実施中		12件	(46.2%)
2.	実施予定		14件	(53.8%)
		総数	26件	



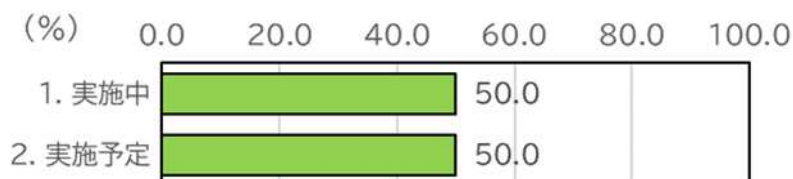
4. 研修等 (n=22) SA

1.	実施中		10件	(45.5%)
2.	実施予定		12件	(54.5%)
		総数	22件	



5. 影響調査・情報収集 (n=26) SA

1.	実施中		13件	(50.0%)
2.	実施予定		13件	(50.0%)
		総数	26件	



6. その他 (n=2) SA

1.	実施中		1件	(50.0%)
2.	実施予定		1件	(50.0%)
		総数	2件	



◇ その他回答は次の通り

- ・ 実施中(温室効果ガス排出量の抑制等に資する建設資材の選択)。
- ・ 実施予定(関連商品の使用)。

問14. 1 岡山市では、2050 年までに地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排出を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」を目指しています。貴事業所の考え方に近いものを教えてください。

(n=139) SA

- 「知っており取組に協力していきたい」(55.4%)、「知らなかったが、取組に協力していきたい」(35.3%)の合計が90.7%であり、取組に協力したいと考える事業者が9割を占めることが示された。

1.	知っており、取組に協力していきたい		77件	(55.4%)
2.	知っているが、取組に協力する気はない		8件	(5.8%)
3.	知らなかったが、取組に協力していきたい		49件	(35.3%)
4.	知らなかったし、取組に協力する気もない		5件	(3.6%)
		総数	139件	

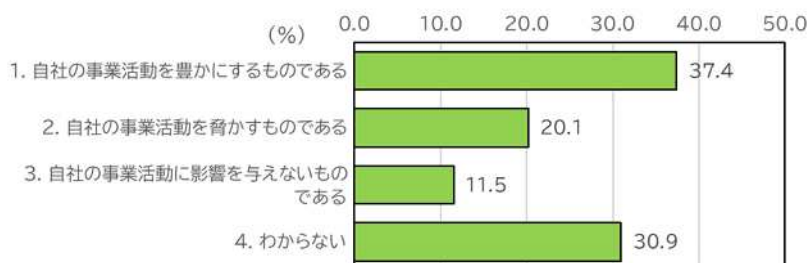


問 14. 2 貴事業所にとって、「地球温暖化対策」とはどのようなものだと感じますか？ (n=139)

SA

- 「自社の事業活動を豊かにするものである」が37.4%で最も多かったが、次いで「わからない」が30.9%と多く、「自社の事業活動を脅かすものである」も20.1%を占めるなど、地球温暖化対策が事業活動にあたる影響に関する評価にはばらつきがみられた。

1.	自社の事業活動を豊かにするものである		52件	(37.4%)
2.	自社の事業活動を脅かすものである		28件	(20.1%)
3.	自社の事業活動に影響を与えないものである		16件	(11.5%)
4.	わからない		43件	(30.9%)
		総数	139件	

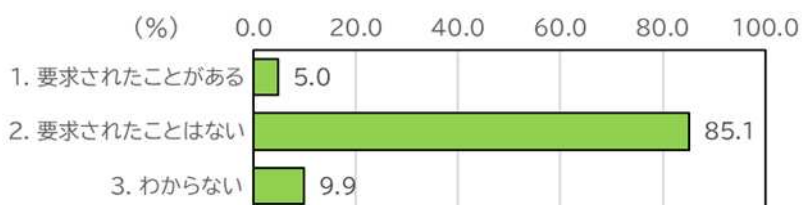


問 14. 3 これまでに取引先から温室効果ガスの削減や目標設定の要求はありましたか？ (n=141)

SA

- 「要求されたことがない」が85.1%で突出して多かったが、一方で「要求されたことがある」も5.0%と極めて少ないながらも存在した。

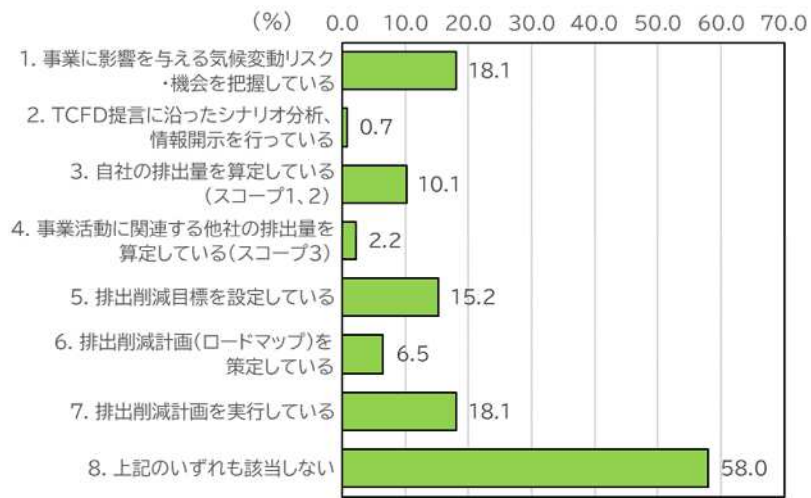
1.	要求されたことがある		7件	(5.0%)
2.	要求されたことはない		120件	(85.1%)
3.	わからない		14件	(9.9%)
		総数	141件	



問 14. 4 貴事業所のカーボンニュートラルに向けた現在の対応状況として、あてはまる番号を選んでください。(複数回答可) (n=138) MA

- 「上記のいずれも該当しない」が58.0%と最も多く、カーボンニュートラルへの対応を図っていない事業所が約6割を占める現状が示された。一方、何らかの対応をしていると選択した事業者の場合は、「事業に影響を与える気候変動リスク・機会を把握している」、「排出削減計画を実行している」がいずれも18.1%で最も多かった。

1.	事業に影響を与える気候変動リスク・機会を把握している	25件	(18.1%)
2.	TCFD提言に沿ったシナリオ分析、情報開示を行っている	1件	(0.7%)
3.	自社の排出量を算定している(スコープ1、2)	14件	(10.1%)
4.	事業活動に関連する他社の排出量を算定している(スコープ3)	3件	(2.2%)
5.	排出削減目標を設定している	21件	(15.2%)
6.	排出削減計画(ロードマップ)を策定している	9件	(6.5%)
7.	排出削減計画を実行している	25件	(18.1%)
8.	上記のいずれも該当しない	80件	(58.0%)
	総数	138件	



問 14. 5 <問 14. 4>で 1～7 を選んだ方にお聞きします。

貴事業所で現在実施している取組として、あてはまる番号を選んでください。(複数回答可)

(n=59) MA

- 例えば 50%以上の選択肢だけを見ても、「1. 照明の LED 化」(86.4%)、「4. 省エネ設備の導入」(61.0%)、「5. 節電・節水」(79.7%)、「7. 資源のリサイクル」(69.5%)、「12. ペーパーレス化」(55.9%)、「13. 廃棄物の削減」(55.9%) の 6 項目が挙がるなど、様々な取組を実践していることが明らかになった。

1.	照明の LED 化	51件	(86.4%)
2.	太陽光発電の設置	14件	(23.7%)
3.	環境配慮型自動車に買い替え (EV 車・HV 車など)	25件	(42.4%)
4.	省エネ設備の導入	36件	(61.0%)
5.	節電・節水	47件	(79.7%)
6.	燃料や原材料を再生可能なものに転換	12件	(20.3%)
7.	資源のリサイクル	41件	(69.5%)
8.	生産性の向上	12件	(20.3%)
9.	森林の保全	6件	(10.2%)
10.	省エネ診断	4件	(6.8%)
11.	SDGs の推進	23件	(39.0%)
12.	ペーパーレス化	33件	(55.9%)
13.	廃棄物の削減	33件	(55.9%)
14.	CO2排出量の算定・把握	15件	(25.4%)
	総数	59件	

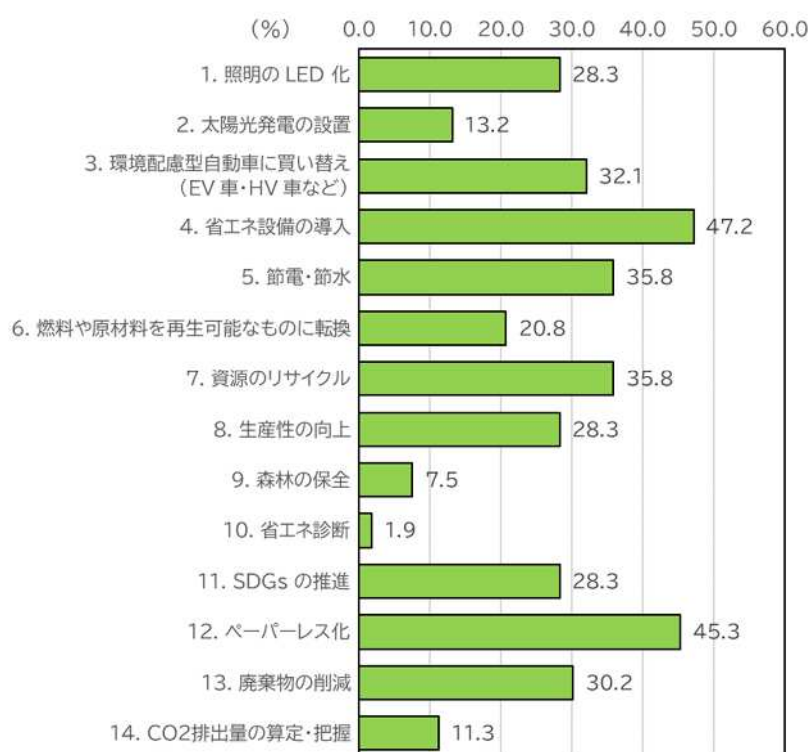


問 14. 6 <問 14. 4>で1～7を選んだ方にお聞きします。

貴事業所で今後の実施を検討している取組として、あてはまる番号を選んでください。(複数回答可) (n=53) MA

- 「省エネ設備の導入」、「ペーパーレス化」への回答割合が高かった。
- 回答は分散し、省エネ診断の1.9%を除く選択肢が7.5%～47.2%の幅で選択された。最も多かったのは「省エネ設備の導入」で47.2%であり、次いで「ペーパーレス化」(45.3%)、「節電・節水」(35.8%)、「資源のリサイクル」(35.8%)、「環境配慮型自動車に買い替え (EV車・HV車など)」(32.1%)、「廃棄物の削減」(30.2%)、「照明のLED化」(28.3%)、「生産性の向上」(28.3%)、「SDGsの推進」(28.3%)等が多かった。

1.	照明のLED化	15件	(28.3%)
2.	太陽光発電の設置	7件	(13.2%)
3.	環境配慮型自動車に買い替え (EV車・HV車など)	17件	(32.1%)
4.	省エネ設備の導入	25件	(47.2%)
5.	節電・節水	19件	(35.8%)
6.	燃料や原材料を再生可能なものに転換	11件	(20.8%)
7.	資源のリサイクル	19件	(35.8%)
8.	生産性の向上	15件	(28.3%)
9.	森林の保全	4件	(7.5%)
10.	省エネ診断	1件	(1.9%)
11.	SDGsの推進	15件	(28.3%)
12.	ペーパーレス化	24件	(45.3%)
13.	廃棄物の削減	16件	(30.2%)
14.	CO2排出量の算定・把握	6件	(11.3%)
		総数	53件



問 14. 7 貴事業所のカーボンニュートラルに向けた現在の対応状況について、次の段階に進むにあたっての貴事業所の課題と思われることを選んでください。(複数回答可) (n=134) MA

「わからない」の30.6%を除くと、「必要なノウハウ、人員が不足している」が43.3%で最も多く、次いで「投資・運営コストが増え、対応が困難である」が39.6%、「必要な技術が不足している」が26.1%であった。

1.	必要な技術が不足している	35件	(26.1%)
2.	必要なノウハウ、人員が不足している	58件	(43.3%)
3.	投資・運営コストが増え、対応が困難である	53件	(39.6%)
4.	サプライチェーンの見直しが困難である	1件	(0.7%)
5.	その他	3件	(2.2%)
6.	わからない	41件	(30.6%)
7.	既に対応を終えており、次の段階に進む必要がない	0件	(0.0%)
	総数	134件	



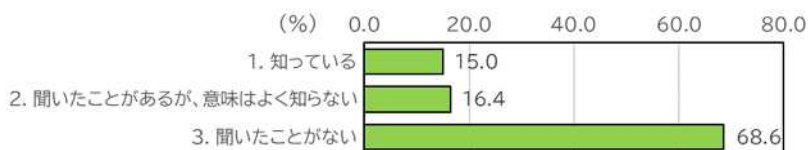
◇ その他回答は次の通り

- ・ カーボンニュートラルをアピールすることによる他業種からのクレーム。
- ・ 脱炭素・カーボンニュートラルって言うけど全てに矛盾する所多し。私の主観としてカーボンニュートラルは無理。太陽光パネル（中華制）作るのに大量の電気使う。電気自動車の充電の電気は大量の石油燃やし作るって本末転倒！
- ・ 本社より指導を受け段階的に取組中ですが、まだ初めたばかりです。

問15. 1 貴事業所は「サーキュラーエコノミー」について知っていますか？ (n=140) SA

➤ 「聞いたことがない」が68.6%で突出して多かった。

1.	知っている	21件	(15.0%)
2.	聞いたことがあるが、意味はよく知らない	23件	(16.4%)
3.	聞いたことがない	96件	(68.6%)
		総数	140件



問 15. 2 貴事業所は「サーキュラーエコノミー」の取組についてどう思いますか。 (n=138) SA

➤ 「とても重要な取組だと思う」が40.6%、「重要な取組だと思う」が48.6%であり「サーキュラーエコノミー」の取組が重要と考える事業所が多い結果が示されているが、前問15.1でサーキュラーエコノミーに関するそもそもの認知度が3割程度と低かったため、本問の結果の捉え方は難しいところである。

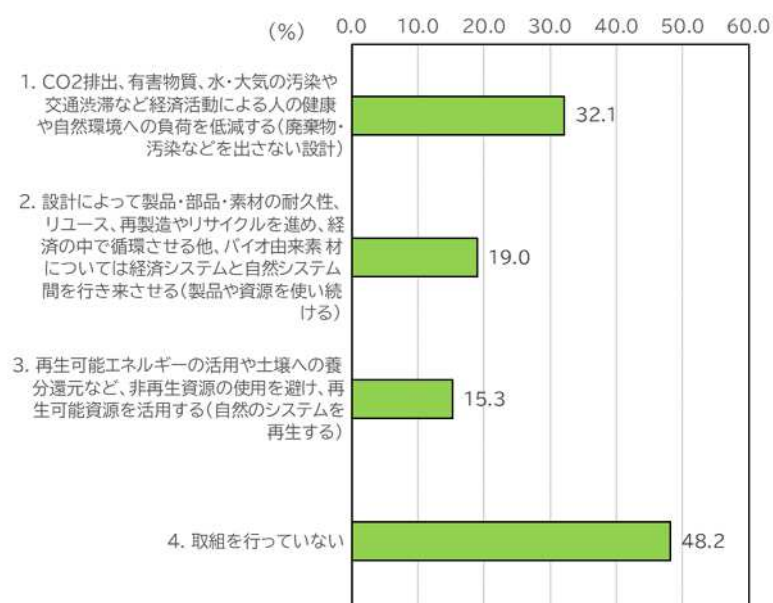
1.	とても重要な取組だと思う	56件	(40.6%)
2.	重要な取組だと思う	67件	(48.6%)
3.	あまり重要な取組だと思わない	1件	(0.7%)
4.	重要な取組だと思わない	5件	(3.6%)
5.	どちらともいえない	9件	(6.5%)
		総数	138件



問 15. 3 貴事業所で行っているサーキュラーエコノミーの取組に近いものを次の中から選んでください。(複数回答可) (n=137) MA

➤ 「取組を行っていない」が48.2%で最も多かったことから、問 15.1 で示された認知度の低さも併せて考えると、サーキュラーエコノミーについては、その用語自体からまだ十分に浸透していないことが示唆された。

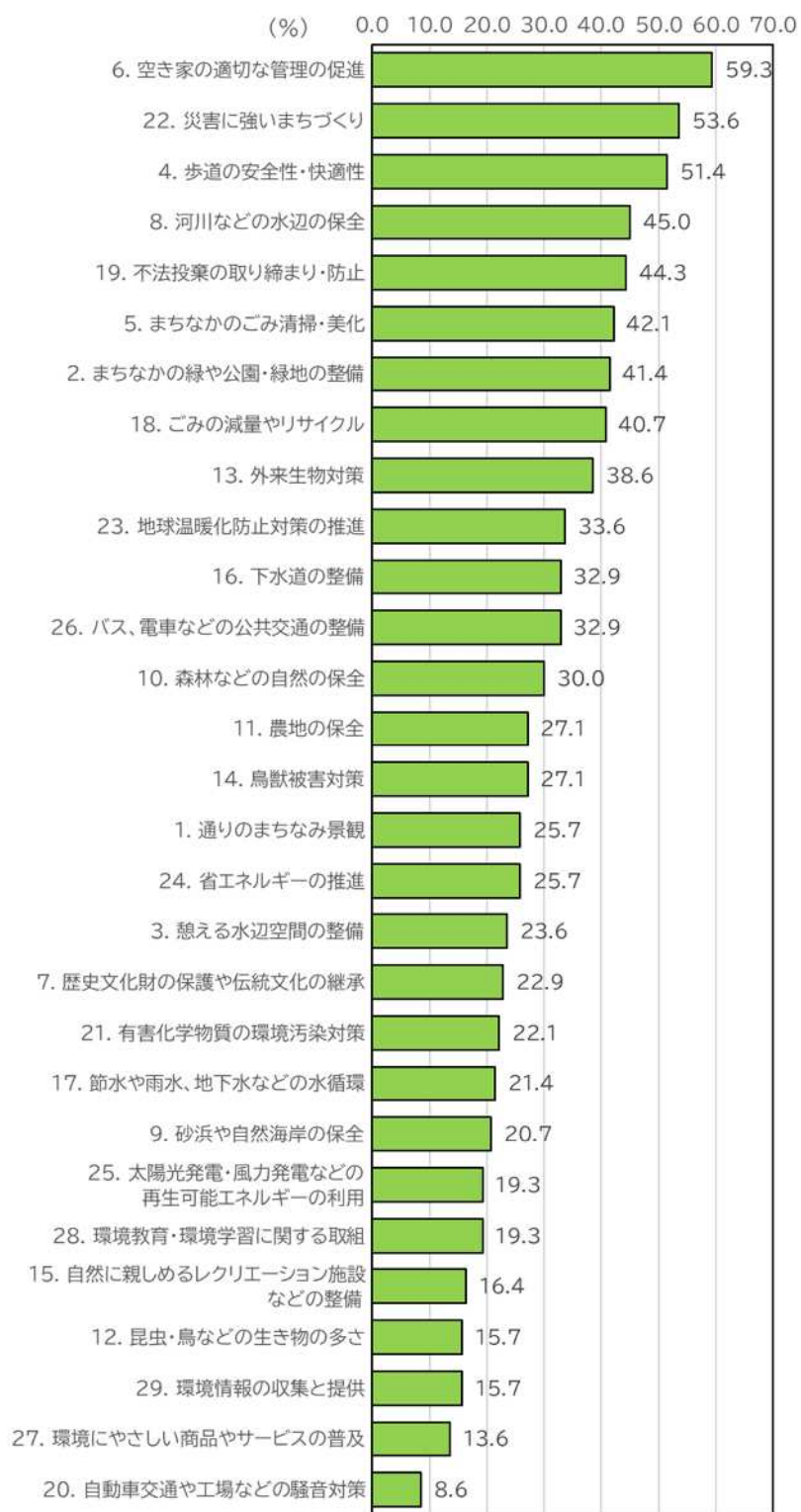
1.	CO2排出、有害物質、水・大気汚染や交通渋滞など 経済活動による人の健康や自然環境への負荷を 低減する(廃棄物・汚染などを出さない設計)	44件	(32.1%)
2.	設計によって製品・部品・素材の耐久性、 リユース、再製造やリサイクルを進め、 経済の中で循環させる他、バイオ由来素材については 経済システムと自然システム間を行き来させる (製品や資源を使い続ける)	26件	(19.0%)
3.	再生可能エネルギーの活用や土壌への 養分還元など、非再生資源の使用を避け、 再生可能資源を活用する(自然のシステムを 再生する)	21件	(15.3%)
4.	取組を行っていない	66件	(48.2%)
総数		137件	



問16. 岡山市の環境施策について、重要度を感じる項目は何ですか？（複数回答可）（n=140） MA

- 回答は分散し、全選択肢（29 個）が 8.6%～59.3%の幅で選択された。最も多かったのは「空き家の適切な管理の促進」で 59.3%であり、次いで「災害に強いまちづくり」(53.6%)、「歩道の安全性・快適性」(51.4%)、「河川などの水辺の保全」(45.0%)、「不法投棄の取り締まり・防止」(44.3%)、「まちなかのごみ清掃・美化」(42.1%)、「まちなかの緑や公園・緑地の整備」(41.4%)、「ごみの減量やりサイクル」(40.7%)、「外来生物対策」(38.6%)等が多かった。

1.	通りのまちなみ景観	36件	(25.7%)
2.	まちなかの緑や公園・緑地の整備	58件	(41.4%)
3.	憩える水辺空間の整備	33件	(23.6%)
4.	歩道の安全性・快適性	72件	(51.4%)
5.	まちなかのごみ清掃・美化	59件	(42.1%)
6.	空き家の適切な管理の促進	83件	(59.3%)
7.	歴史文化財の保護や伝統文化の継承	32件	(22.9%)
8.	河川などの水辺の保全	63件	(45.0%)
9.	砂浜や自然海岸の保全	29件	(20.7%)
10.	森林などの自然の保全	42件	(30.0%)
11.	農地の保全	38件	(27.1%)
12.	昆虫・鳥などの生き物の多さ	22件	(15.7%)
13.	外来生物対策	54件	(38.6%)
14.	鳥獣被害対策	38件	(27.1%)
15.	自然に親しめるレクリエーション施設などの整備	23件	(16.4%)
16.	下水道の整備	46件	(32.9%)
17.	節水や雨水、地下水などの水循環	30件	(21.4%)
18.	ごみの減量やりサイクル	57件	(40.7%)
19.	不法投棄の取り締まり・防止	62件	(44.3%)
20.	自動車交通や工場などの騒音対策	12件	(8.6%)
21.	有害化学物質の環境汚染対策	31件	(22.1%)
22.	災害に強いまちづくり	75件	(53.6%)
23.	地球温暖化防止対策の推進	47件	(33.6%)
24.	省エネルギーの推進	36件	(25.7%)
25.	太陽光発電・風力発電などの再生可能エネルギーの利用	27件	(19.3%)
26.	バス、電車などの公共交通の整備	46件	(32.9%)
27.	環境にやさしい商品やサービスの普及	19件	(13.6%)
28.	環境教育・環境学習に関する取組	27件	(19.3%)
29.	環境情報の収集と提供	22件	(15.7%)
	総数	140件	



問17. 岡山市は環境についてどのような内容を発信するのがよいと思いますか？ (n=139) MA

- 「補助金についての情報」が46.8%で最も多く、次いで「岡山市が行う環境保全活動の情報」が40.3%、「岡山市の大気や水質などの現在の情報」が37.4%、「岡山市が掲げる環境目標などの情報」が35.3%であった。

1.	岡山市が掲げる環境目標などの情報	49件	(35.3%)
2.	岡山市が行う環境保全活動の情報	56件	(40.3%)
3.	岡山市の大気や水質などの現在の情報	52件	(37.4%)
4.	企業・団体の環境に関する取組状況	20件	(14.4%)
5.	省エネ設備、エコ商品の情報	46件	(33.1%)
6.	環境保全に向けた行動についての情報	33件	(23.7%)
7.	環境学習・環境保全イベントの情報	26件	(18.7%)
8.	補助金についての情報	65件	(46.8%)
9.	その他	3件	(2.2%)
	総数	139件	



◇ その他回答は次の通り

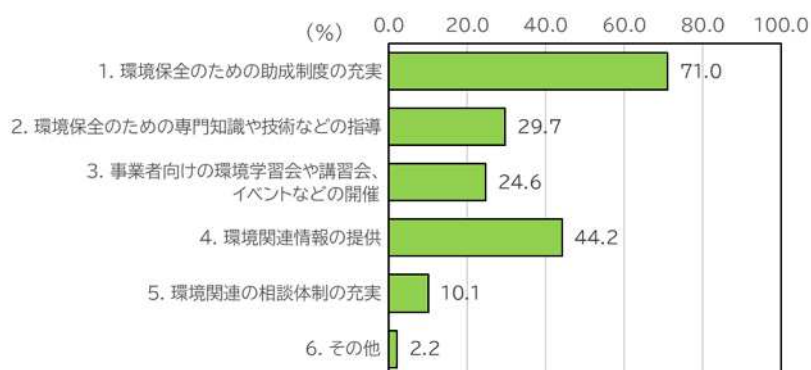
- ・ PFAS 数値、人体への影響。

問18. 貴事業所の環境保全に向けた取組を進める上で、行政にどのようなことを望みますか？

(n=138) MA

- 「環境保全のための助成制度の充実」が71.0%で最も多く、次いで「環境関連情報の提供」が44.2%であった。

1.	環境保全のための助成制度の充実	98件	(71.0%)
2.	環境保全のための専門知識や技術などの指導	41件	(29.7%)
3.	事業者向けの環境学習会や講習会、イベントなどの開催	34件	(24.6%)
4.	環境関連情報の提供	61件	(44.2%)
5.	環境関連の相談体制の充実	14件	(10.1%)
6.	その他	3件	(2.2%)
	総数	138件	



◇ その他回答は次の通り

- ・ 路面電車の廃止。
- ・ 各業界でできることが異なると思うので、業界団体への事例の共有や団体ごとに推進できる仕組みを作ったら良いのでは？

問19. 岡山市の環境保全に関連したご意見やご提案等がありましたら、ご自由にお書きください。

(n=14) FA

- ・ 粗大ゴミの出し方をもう少しわかりやすく教えて欲しい。
- ・ CO2 低下に貢献できる自動車道整備、電車内への自転車持ち込み、効率的なバス路線環境。
- ・ 市民全員が自覚できるよう広報や研修会、イベントを通じて周知していき、全員による取り組みができるようにしていくことが重要と思います。
- ・ ごみの分別でプラスチックは別にするが、焼却炉で燃やす際元々石油で出来ているプラスチックは入れず焼却しても火力が不足してしまい結局石油入れ焼却するって本末転倒。
- ・ 各家庭で発生した剪定枝等を、焼却ゴミとして処分しているが、これを堆肥として利用できるしくみづくり。
- ・ 事業者、個人問わず、誰でも気軽に参加できる自然保護のイベントや活動があれば良い。
- ・ 事業者向けの助成制度等の必要性を感じない。

III. 同一設問による比較

ここでは、中高生、市民、事業者の3種のアンケートで、設問表現はやや異なるものの同一の設問と分類できる4項目（下表参照）について、結果や傾向の比較を行った。

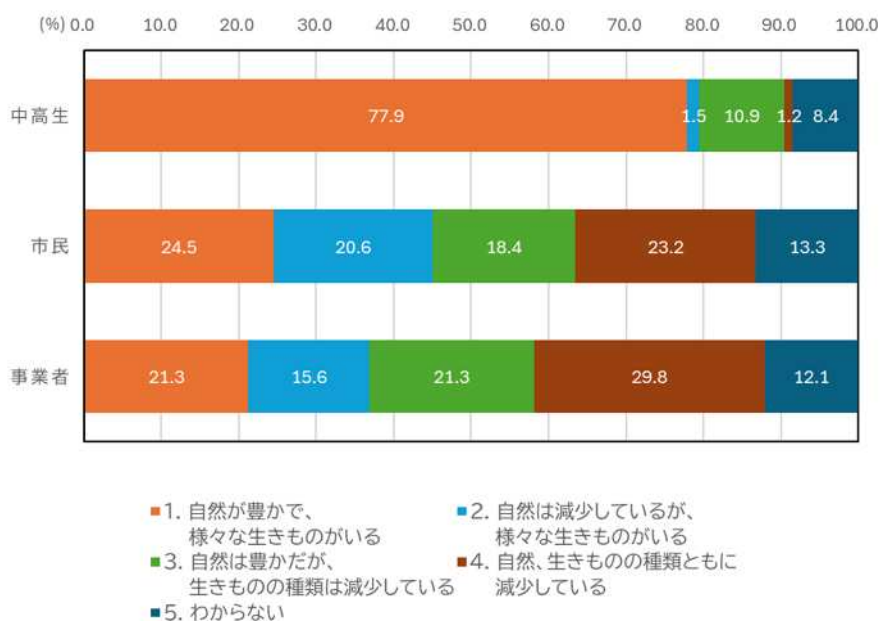
表 比較を行った設問項目

項目	設問	アンケート対象		
		中高生	市民	事業者
1) 岡山市の自然について	(1) 岡山市の自然についてどう思いますか？	問3 (中高生共通)	問4	問4
	(2) あなたにとって岡山市の身近な自然はどこですか？	問2 (中高生共通)	問5-1	
2) 生物多様性について	(1) あなたは、「生物多様性」の言葉の意味を知っていますか？		問2	問2-1
	(2) あなたは、生物多様性に関心がありますか？	問7 (中高生共通)	問3-1	
	(3) あなたは、市民の多くの方々に「生物多様性」を周知するために、どのような方法が有効であると思われますか？	問8 (中高生共通)	問3-3	
	(4) あなたは、市民・企業・学校等と連携した生物多様性の取組やイベントがあれば参加してみたいと思いますか？	問9 (中高生共通)	問6-1	
	(5) どのような取組やイベントに参加してみたいですか？	問10-1 (中高生共通)	問6-2	
	(6) 民・企業・学校等と連携した生物多様性の取組やイベントについて、興味はあるが参加しないと思う、または参加しないと回答された方への質問です。参加しない理由はなんですか？	問10-2 (中高生共通)	問6-3	
3) 地球温暖化について	(1) 「地球温暖化対策」についてどう思いますか？	問14 (中高生共通)	問10-1	
	(2) あなたにとって、「地球温暖化対策」とはどのようなものだと感じますか？	問15 (高校生のみ)	問10-2	
	(3) 岡山市では、2050年までに地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排出を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」を目指しています。あなたはこのことを知っていましたか？	問12 (高校生のみ)	問10-7	
4) サークュラーエコノミーについて	(1) あなたは「サーキュラーエコノミー」について知っていますか？		問12	問15-1

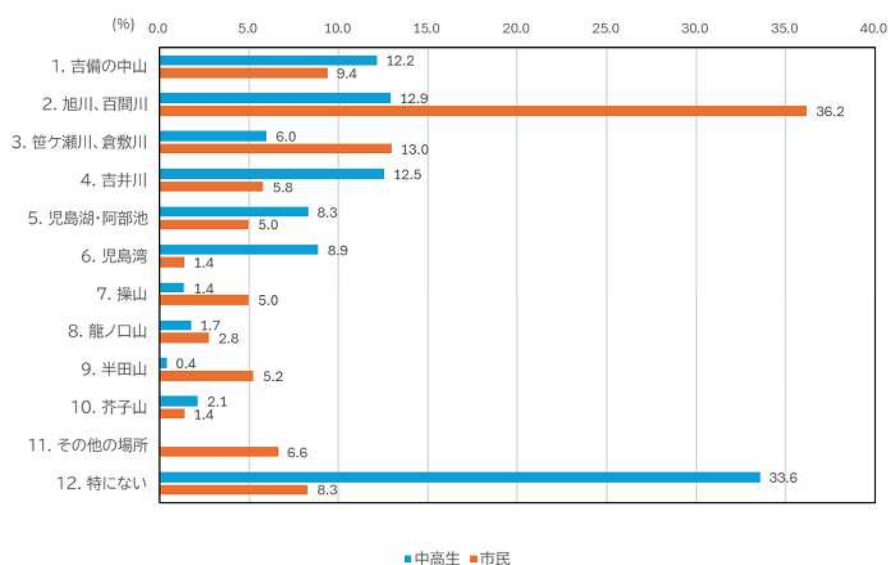
1) 岡山市の自然について

- 岡山の自然については、主として中高生と市民で比較した（一部、事業者を含み比較）。
- 岡山市の自然について、中高生は「自然が豊かで、様々な生きものがある」と感じている人が 77.9%と多いが、身近な岡山の自然については「特にない」という回答が 33.6%と最も多く、漠然と自然の豊かさを感じてはいるものの、身近な自然との接点は少ない状況が示唆された。一方で、市民及び事業者は5つの選択肢を占める割合が分散する結果であった（以下の(1)及び(2)を参照）。
- 岡山市の身近な自然に対する設問では、中高生では「特にない」の 33.6%を除き「旭川、百間川」が 12.9%で最も多く、市民でも 36.2%で最も多いことから、「旭川、百間川」が幅広い世代の市民から身近な自然として認識されていることが示唆された（以下の(2)を参照）。

(1) 岡山市の自然についてどう思いますか？



(2) あなたにとって岡山市の身近な自然はどこですか？

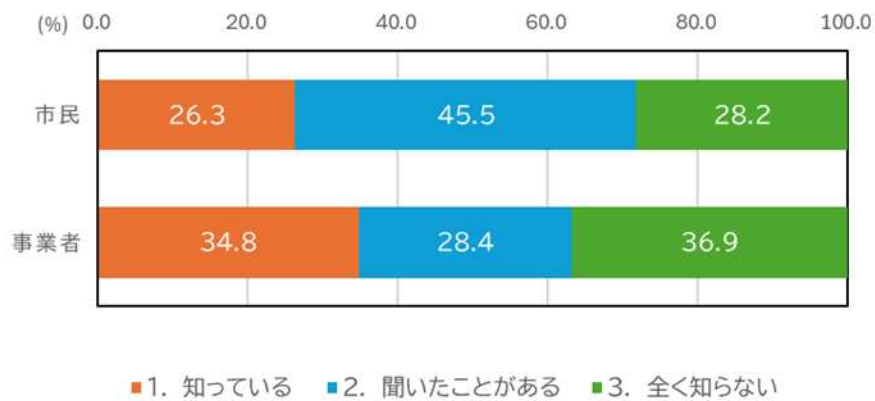


2) 生物多様性について

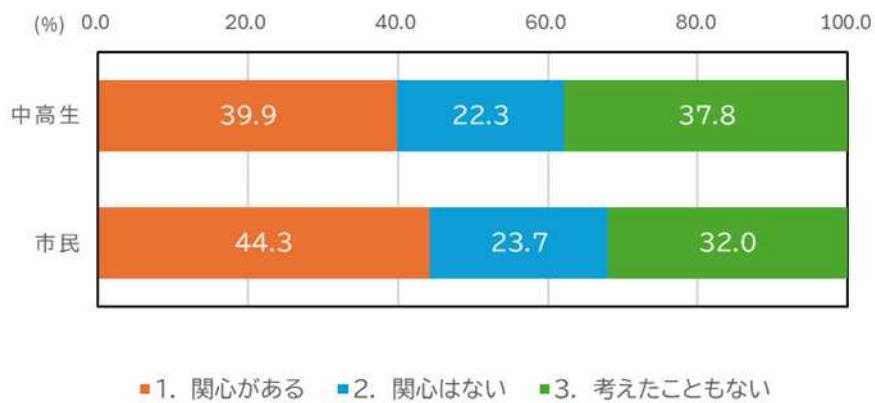
- 生物多様性という言葉の認知度については、市民と事業者で比較した。双方の「知っている」あるいは「聞いたことがある」が占める割合は全体の約6割～7割と同程度であったが、「知っている」の割合は事業者の方が多かった（以下の(1)を参照）。
- 生物多様性への関心の程度については、中高生と市民で比較した。「関心がある」の割合は市民の方が高かったものの双方とも5割以下であり、全体としては関心が高いとはいえない傾向であった（以下の(2)を参照）。
- 生物多様性に関する有効な周知の方法については、中高生と市民で比較した。中高生は「SNS (Instagram や TikTok 等) やインターネットによる情報発信」が90.0%で圧倒的に多かったが、市民は「マスメディア (テレビ、ラジオ、新聞) などと連携した情報発信」が65.9%で最も多く、世代間の違いが明確に示された（以下の(3)を参照）。
- 生物多様性関連のイベントに対する関心の程度については、中高生と市民で比較した。中高生と市民ともに「参加したい」の割合は17%程度で、イベントへの関心は極めて低い結果であった。その他の選択肢の占有率の傾向も類似しており、「興味はあるが、参加しないと思う」の割合がそれぞれ54.4%、56.9%で最も多かった（以下の(4)を参照）。
- 生物多様性関連のイベントへ参加しない場合の理由では、中高生、市民とも「忙しくて時間がない」が38.0%、45.7%で最も多かった。その他、中高生は「面倒くさい」の割合が24.5%と高く、その他の「興味はあるが、様々な人と関わることに抵抗感がある」(18.9%) や、「生物多様性に関する取組に興味がない」(16.9%) の割合も比較的高いことから、イベントへ参加しない理由は様々であることが特徴としてみられた。それに対し、市民は「その他」(20.4%) 及び「面倒くさい」(14.5%) が多いことから、特に理由はなくイベントへの関心が低い特徴がみられた（以下の(4)、(6)を参照）。
- 生物多様性関係のイベントで参加したいものとして、中高生は「生きものの観察会」(56.7%) や「生きものの調査」(57.6%)、「生きものの保全活動」(47.8%) と野外での活動が多かったが、市民では「セミナーや講座など」(40.3%) と座学への回答が多かった。

た点に相違がみられた（以下の(5)を参照）。

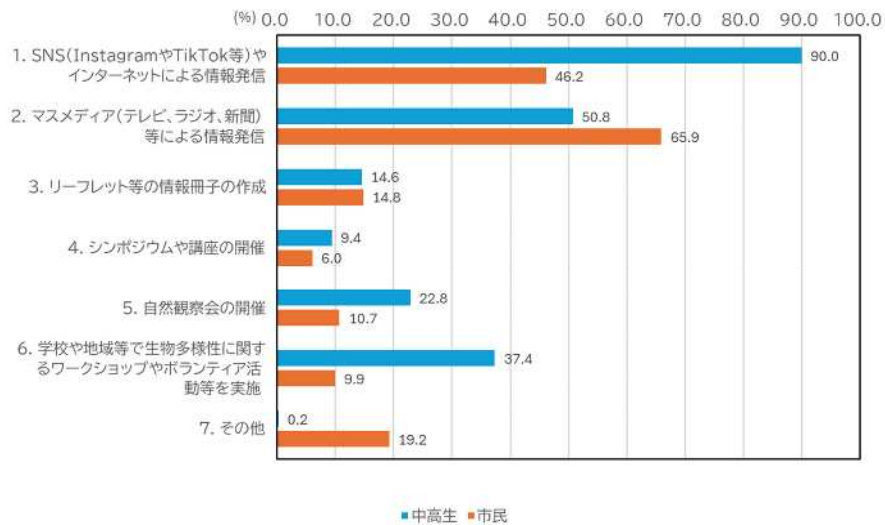
(1) あなたは、「生物多様性」の言葉の意味を知っていますか？



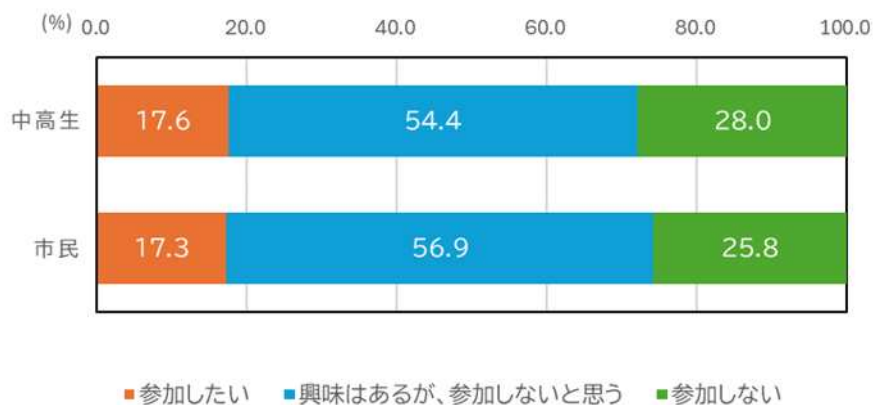
(3) あなたは、生物多様性に興味がありますか？



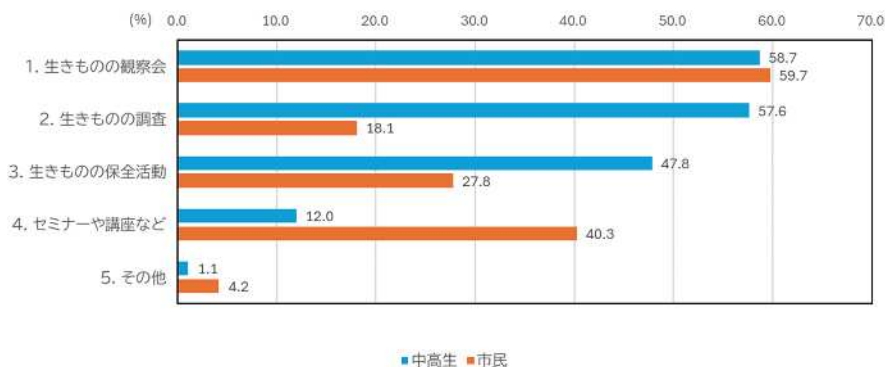
(4) あなたは、市民の多くの方々に「生物多様性」を周知するために、どのような方法が有効であると思われますか？



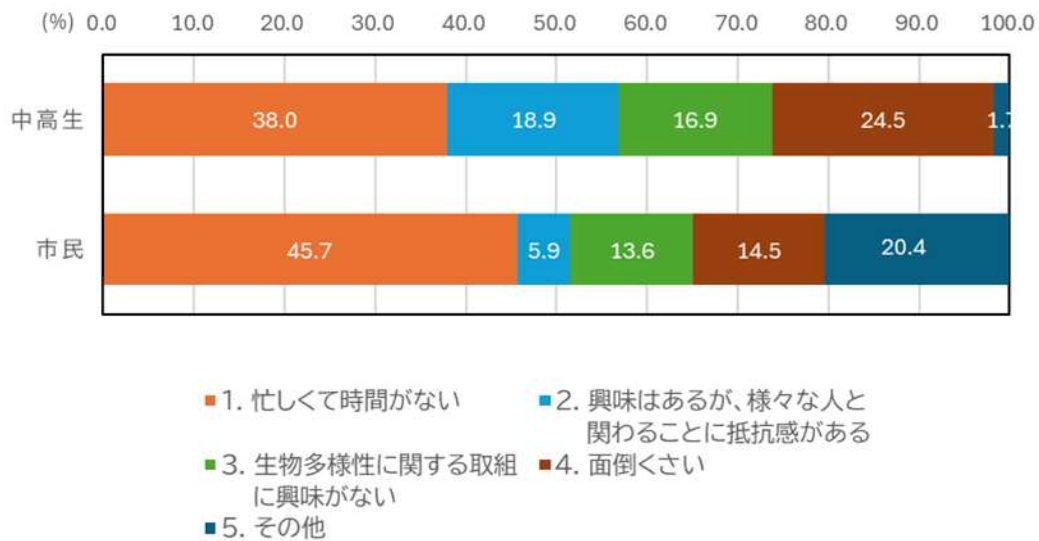
(5) あなたは、市民・企業・学校等と連携した生物多様性の取組やイベントがあれば参加してみたいと思いますか？



(6) どのような取組やイベントに参加してみたいですか？



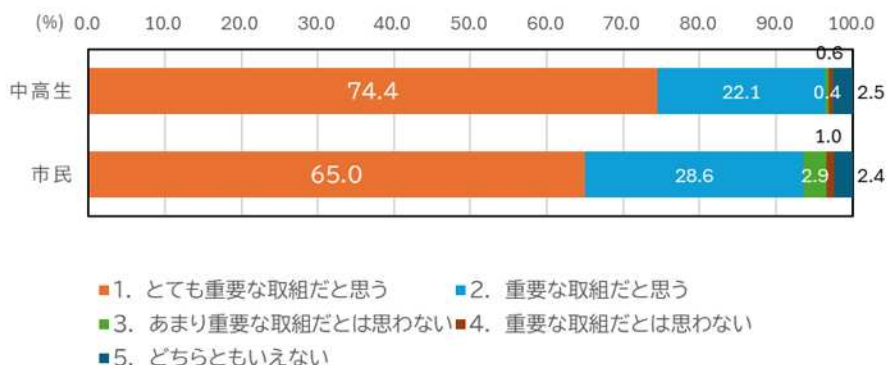
(7) 民・企業・学校等と連携した生物多様性の取組やイベントについて、興味はあるが参加しないと思う、または参加しないと回答された方への質問です。参加しない理由はなんですか？



3) 地球温暖化について

- 地球温暖化については、中高生と市民で比較した。
- 地球温暖化対策の重要性については、中高生及び市民とも「とても重要な取組だと思う」及び「重要な取組だと思う」が全体の9割以上を占め、双方の認識に相違はみられなかった（以下の(1)を参照）。
- 地球温暖化対策が実生活に与える影響については、中高生では「多くの場合、生活を豊かにするものである」が64.9%であるのに対し、市民では40.2%と少なかった。逆に中高生では「多くの場合、生活の質を脅かす（低下させる・支障になる）ものである」が19.1%であるのに対し、市民では29.1%と多かったことから、地球温暖化対策が実生活にネガティブに影響していると感じる割合は中高生よりも市民の方が高いことが示唆された（以下の(2)を参照）。
- 「ゼロカーボンシティ」については、中高生、市民とも「知らなかった」が80%以上と多く、「ゼロカーボンシティ」の認知度は現状で低いことが示された（以下の(3)を参照）。

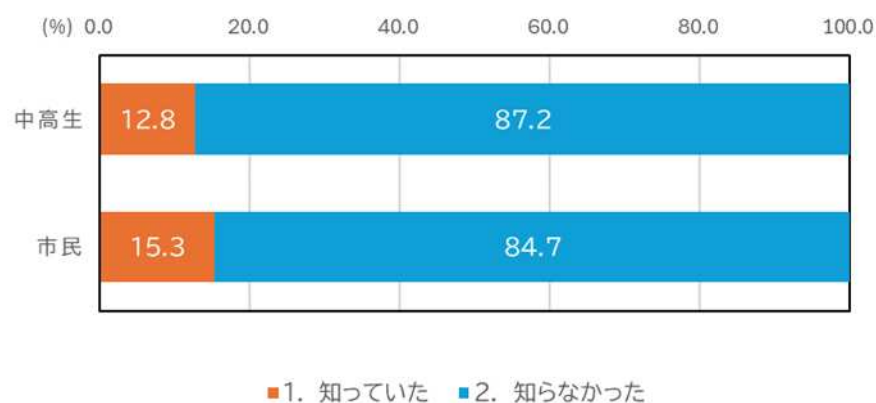
(1) 「地球温暖化対策」についてどう思いますか？



(2) あなたにとって、「地球温暖化対策」とはどのようなものだと感じますか？



(3) 岡山市では、2050年までに地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排出を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」を目指しています。あなたはこのことを知っていましたか？



4) サークュラーエコノミーについて

- サークュラーエコノミーについては、市民と事業者で比較した。
- 市民、事業者とも「サーキュラーエコノミー」という言葉を「聞いたことがない」が60%以上と多く、「サーキュラーエコノミー」の認知度が低いことが示された（以下の(1)を参照）。

(1) あなたは「サーキュラーエコノミー」について知っていますか？

